

NICS SYLLABUS

講義要項：2017 年（秋）

<http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/>



VIA VERITAS VITA

長崎外国語大学
国際交流センター事務室

作成：2017 年 9 月 1 日

NICS 科目名一覧(2017 年秋)(A:秋学期開講科目)

日本語科目

科目名	担当者		単位	ページ	時限
日本語 5A (口頭表現)	宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	1	水 2
日本語 5A (文章表現)	小谷 裕子	(こたに ゆうこ)	1	3	月 2
日本語 5A (読解【漢字圏対象】)	和田 一菜	(わだ ひとな)	1	5	金 2
日本語 5A (読解【非漢字圏対象】)	宮崎 聖乃	(みやざき きよの)	1	7	金 2
日本語 5A (聴解)	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	1	9	水 2
日本語 6A (口頭表現)	中村 稔行	(なかむら としゆき)	1	11	水 2
日本語 6A (文章表現)	小谷 裕子	(こたに ゆうこ)	1	13	月 1
日本語 6A (読解)	宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	15	金 2
日本語 6A (聴解)	田島 紀子	(たじま のりこ)	1	17	火 2
日本語 7A (口頭表現)	川崎 加奈子	(かわさき かなこ)	1	19	火 2
日本語 7A (文章表現)	宮崎 聡子	(みやざき さとこ)	1	21	金 3
日本語 7A (読解)	貞松 明子	(さだまつ はるこ)	1	23	水 5
日本語 7A (聴解)	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	1	25	月 2
応用日本語Ⅲ(古典日本語文法)	松本 真輔	(まつもと しんすけ)	1	27	木 2
応用日本語Ⅳ(時事日本語)	安田 真由美	(やすだ まゆみ)	1	29	火 2
応用日本語Ⅴ(論文作成)	新居田 純野	(にいだ すみの)	1	31	水 4
応用日本語Ⅷ(日本の近・現代小説)	宮崎 聖乃	(みやざき きよの)	1	33	水 5
日中翻訳演習 1A	クラス1 楊 暁安	(よう ぎょうあん)	1	35	月 1
	クラス2 楊 暁安	(よう ぎょうあん)			
日中翻訳演習 2A	趙 紅林	(ちょう こうりん)	1	39	金 4
日韓翻訳演習 A	梁 正善	(やん じょんそん)	1	41	月 4
資格試験日本語 2A	田島 紀子	(たじま のりこ)	1	43	火 4
資格試験日本語 3A	河津 基	(かわつ もとい)	1	45	火 4
漢字語彙 4A	非漢字圏 藤原 一智絵	(ふじわら いちえ)	1	47	水 4
ビジネス日本語 A	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	1	50	水 3
講座日本事情 1A	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	2	52	水 4
講座日本事情 2A	大谷 鉄平	(おおたに てっぺい)	2	54	月 5
アクティブ日本事情 A	宮崎 聖乃	(みやざき きよの)	2	56	金 5

日本研究科目

科目名	担当者		単位	ページ	時限
日本の文化 A	宮崎 賢太郎	(みやざき けんたろう)	2	59	火 3
日本の文学 A	常吉 幸子	(つねよし さちこ)	2	61	木 5
日本の社会 A	石川 昭仁	(いしかわ あきひと)	2	64	木 1
長崎と世界 A	本田 貞勝	(ほんだ さだかつ)	2	66	金 1
日本のビジネス A	庵谷 治男	(おおたに はるお)	2	68	火 2
自由課題研究 A	小島居 伸介	(ことりい しんすけ)	2	70	金 5
	野田 雄史	(のだ たけし)			金 4
	松本 真輔	(まつもと しんすけ)			火 3
NICS 特別演習 A	未定		2	—	集中講義
実習・日本の伝統文化 1 ＜書道・茶道・将棋＞	出口 すゞ美 高橋 富美子 下里 亘	(でぐち すずみ) (たかはし ふみこ) (しもさと わたる)	1	76	木 4
実習・日本の伝統文化 2 ＜華道・着付・カルタ＞	白井 恭子 藤間 弥寿幸 佐々木 美沙	(しらい きょうこ) (ふじま やすゆき) (ささき みさ)	1	79	火 5・6
実習・日本の伝統文化 3 ＜琴＞	吉岡 雅翠	(よしおか がすい)	1	82	金 5
実習・日本の武道 ＜合気道・剣道・相撲講義＞	鎬木 幸次郎 下里 亘 Tiedemann, Mark	(かぶらぎ こうじろう) (しもさと わたる)	1	85	月 3

科目名 Course title	日本語 5 A (口頭表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		○	○	◎

履修要件 Prerequisites	プレイスメントテストでプレイスされた短期留学生。
科目規定 Course Description	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	あるトピックについて、グループディスカッションを行い、ディスカッションの内容を踏まえて、自分の考えをまとめたエッセイを作成する。作成したエッセイは、クラス内で発表を行う。発表者は自己評価をし、聞いている人はコメントシートを書く。発音のトレーニングも適宜行う。期末試験は行わず、宿題（エッセイ等）・発表・ディスカッション参加度で評価する。
授業の目標 Learning Goals	C: ディスカッションの内容を踏まえて、自分の考えをまとめたエッセイを作成することができる。 D: グループワークやペアワークで協調して作業を進めることができる。 E: 日常会話レベル以上の内容について、自分の意見や考えを述べるができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、自己紹介（アイスブレイキング）	
2	トピック1 家族①鍵っ子	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
3	トピック1 家族②一人暮らし	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
4	トピック1 家族③親孝行	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
5	トピック1 家族④男女役割、イクメン	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
6	家族／結婚について 映像資料視聴・意見交換	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
7	トピック2 教育①しつけとは	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
8	トピック2 教育②制服、校則	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
9	トピック2 教育③大学進学目的	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
10	トピック2 教育④いじめ	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
11	トピック3 若者と社会①成人の日	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
12	トピック4 若者と社会②生きる目的	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"

13	トピック5 若者と社会③大学生生活	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
14	トピック6 若者と社会④バレンタインデー	"グループディスカッションを踏まえて、エッセイにまとめる(1時間)発表者は発表準備"
15	まとめとフィードバック	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	30

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	40
授業時態度など	10
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	適宜資料を配付する。
参考文献等 References	『VOICES FROM JAPAN』くろしお出版 『にほんご音読トレーニング』アスク
履修の留意点 Special Notes	ここに記載したトピックは2016年度のものである。クラスの状況に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。また、詳細な評価方法は授業開始後に改めて指示する。
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜4限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 5 A (文章表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	小谷 裕子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 5 にブレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする
授業の概要 Contents	エッセイを書く作業を通して、正しい表記、正確な文法、適切な表現等、日本語の文章を書く力を伸ばす。授業で取り扱う課題の予習、エッセイの作成、発表の準備などの自宅学習を必須とする。エッセイの内容については、グループワークにより意見交換や文章の修正などを行う。
授業の目標 Learning Goals	A: 既習未習の文法項目を確実に理解し、段落のある文章の中でそれらを正確に使いこなすことができる B: それぞれのエッセイへのpeer reviewを通して、論理的に考えたり問題を解決したりすることができる E: グループでエッセイを修正する作業およびエッセイの発表と質疑応答などを通して、自分の意見を適切に表現し、他者の意見を正確に理解することができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスの確認、自己紹介、自己紹介シート記入、グループでエッセイのテーマ決めのディスカッション	原稿用紙の使い方の確認、第3課「自動詞・他動詞・受身」と第4課「呼応」の予習 (1時間)
2	自動詞・他動詞のルール、自動詞・他動詞・受身の使い分け、副詞/接続詞/主語/疑問詞との呼応	400字程度のエッセイ(1)作成 (1時間)
3	エッセイ(1)のpeer review (構成・内容・表現・文法・誤字等のチェック)	エッセイ(1)の修正、発表準備 (1時間)
4	エッセイ(1)の発表、質疑応答、評価シート記入	第11課「辞書の危険性」と第12課「専門用語の選び方」の予習 (1時間)
5	文脈に合った言葉の選び方、学術的な文章を書く時の専門用語の選び方	600字程度のエッセイ(2)作成 (1時間)
6	エッセイ(2)のpeer review、エッセイ(1)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(2)の修正・発表準備 (1時間)
7	エッセイ(2)の発表、質疑応答、評価シート記入	第15課「接続詞と文章の構成」と第16課「読み手への配慮」の予習 (1時間)
8	接続詞の使い方、情報不足でわかりにくい文章を直す方法	600字程度のエッセイ(3)作成 (1時間)
9	エッセイ(3)のpeer review、エッセイ(2)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(3)の修正、発表準備 (1時間)
10	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入	第18課「レポートの基本的な書き方」の予習 (1時間)
11	複雑な内容を整理して書く方法	600～800字程度のエッセイ(4)作成 (1時間)
12	エッセイ(4)のpeer review、エッセイ(3)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(4)の修正、発表準備 (1時間)
13	エッセイ(4)の発表、質疑応答、評価シート記入	小論文の作成メモの作成練習 (1時間)

14	エッセイ（４）の発表、質疑応答、評価シート記入	期末試験に向けての総復習（１時間）
15	まとめと振り返り	まとめと振り返り（１時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	30
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	10
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他（授業で書いたエッセイ）	20

教科書 Textbooks : Materials	石黒圭・筒井千絵著 『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』 スリーエーネットワーク 1600円（税別）
参考文献等 References	友松悦子著 『小論文への12のステップ』 スリーエーネットワーク 1600円（税別） 関連科目：日本語5B/A 文章表現・読解・聴解・口頭表現
履修の留意点 Special Notes	クラスの状況に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。
連絡先 Contact	メールアドレス：yukoktn@ybb.ne.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	外国語で長文を書くのは大変な作業です（特に非漢字圏の学生にとって）。どんなに素晴らしい内容でも、文法や表現を間違えると、正確に伝わらなかったりレベルが低いと思われますので注意してください。
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 5 A (読解) 【漢字圏】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	和田 一菜	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	日本語 5 レベルかつ漢字圏の留学生を対象とする。
科目規定 Course Description	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	日本語中級レベルの読解中心の授業である。語彙・文法も抑えながら、テキストの本文を読み解く。さらに、本文のトピックについて、クラスメイトや教師との対話を通して、自己の考えを深め、表現する。 読解活動が中心となるが、聴き、話し、書く発展的な学習を行う。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が読めるようになる B: 事実関係や物事の経緯を正確に理解し、筆者の主張や意図を把握できる E: 文章の内容に関してコメントしたり、意見交換をしたりすることができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション テキスト紹介・課題について	シラバスを熟読しておく。
2	< 2 課> 「草は生きているか」疑うことがいのちを知る入口 ことば・文法・話してみよう・内容確認	2 課の本文音読 語彙・文法の復習
3	< 2 課> 「草は生きているか」疑うことがいのちを知る入口 小テスト・発展課題・まとめ	2 課の本文音読 語彙・文法の復習
4	< 4 課> 障がいと私 ことば・文法・話してみよう・内容確認	4 課の本文音読 語彙・文法の復習
5	< 4 課> 障がいと私 小テスト・発展課題・まとめ	4 課の本文音読 語彙・文法の復習
6	< 6 課> マニュアル社会 ことば・文法・話してみよう・内容確認	6 課の本文音読 語彙・文法の復習
7	< 6 課> マニュアルと私 小テスト・発展課題・まとめ	6 課の本文音読 語彙・文法の復習
8	ことば・文法の復習 特別課題①	2・4・6 課の音読 語彙・文法の復習 特別課題のまとめ
9	< 8 課> コミュニケーションの日本語 ことば・文法・話してみよう・内容確認	8 課の本文音読 語彙・文法の復習
10	< 8 課> コミュニケーションの日本語 小テスト・発展課題・まとめ	8 課の本文音読 語彙・文法の復習
11	< 10 課> 何かを選択すればゴールに近づく ことば・文法・話してみよう・内容確認	10 課の本文音読 語彙・文法の復習
12	< 10 課> 何かを選択すればゴールに近づく 小テスト・発展課題・まとめ	10 課の本文音読 語彙・文法の復習

13	<12課> 見通す力 ことば・文法・話してみよう・内容確認	12課の本文音読 語彙・文法の復習
14	<12課> 見通す力 小テスト・発展課題・まとめ	12課の本文音読 語彙・文法の復習
15	学習事項の振り返り 特別課題②	8・10・12課の音読 語彙・文法の復習 特別課題のまとめ

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	45
期末レポートなど	
小テストなど	30
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	5
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	小野恵久子ほか著『話す・書くにつながる！ 日本語読解 中級』アルク
参考文献等 References	授業中に紹介する。
履修の留意点 Special Notes	※秋学期は偶数課のみを扱う。 (関連科目など)日本語 5 B/A 文章表現 口頭表現 聴解
連絡先 Contact	hitonawd@gmail.com
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 5 A (読解) 【非漢字圏】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聖乃	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	日本語 5 にブレイスされた学生（非漢字圏の学生に限る）
科目規定 Course Description	習熟度別に読解能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	ある程度の長さの文章もていこうなく読めるよう、ポイントを押さえながら読む練習を行う。 さらに、中級レベルのごい力や文法力をつけ、文章作成能力、及びコミュニケーション力を高める。 漢字の力をつける。
授業の目標 Learning Goals	A: 各課で学んだ知識を深め、自らの言葉で説明したり意見を述べたりすることができる。 B: 各課のテーマについて、その原因や対策について学んだ知識を生かしながら考察することができる。 E: 授業で取り上げられているテーマについて、論理的な議論を行うことができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	"シラバス（授業計画、評価方法）の確認 授業前アンケート日本語能力試験 N 3 / N 2 レベル程度の読解確認テスト"	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習（1 時間）
2	第 2 課文法「～と、～た」「～ことにする」「～ながら」及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
3	第 4 課文法「～ほど…ない」「～ほしい」「～とは思えない」及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
4	第 6 課文法「～とか～とか」「～といっても」「～ものだ/ものではない」「～たつもり」及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
5	第 8 課文法「～ようがない」「～にとって」「～ものだ」「～たところ」「～される」及び本文内容確認	中間試験に向けての準備（1 時間）
6	中間試験	次の授業に向けての予習（1時間）
7	生教材（新聞・エッセイ）の読み取り	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習（1 時間）
8	第 1 0 課文法「～うと」「～につれて」「～どころかかえって」「～わけだ」「～といて…わけではない」及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
9	第 1 2 課文法「～通り」「～というもの」「～とする」「～によって」及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
10	第 1 4 課文法「～上で」「～次第」「～とともに」「～にもかかわらず」及び本文内容確認	次の授業に向けての予習（1 時間）
11	生教材（新聞・エッセイ）の読み取り	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
12	第 1 6 課「～ものだから」「～ところだ」「～ところへ」「～なり」「～に違いない」文法及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
13	第 1 8 課文法「～たばかりに」「～てならない」「～としても」「～ないことには」及び本文内容確認	漢字語彙の確認及び同課文法項目の予習(1時間)
14	第 2 0 課文法「～わりに」「～にあたり」「～に限らず」「～にかけては」及び本文内容確認	次の授業に向けての準備（1 時間）

15	生教材（新聞・エッセイ）の読み取り	総復習(1時間)
評価方法 Grading Policy		配分(%)
試験（中間・期末）		60
期末レポートなど		
小テストなど		20
宿題など		
評価方法 Grading Policy		配分(%)
プレゼンテーションなど		
授業時態度など		
授業への参加度など		20
その他		

教科書 Textbooks : Materials	授業内で配布（教科書購入不要）
参考文献等 References	荒井礼子ほか『テーマ別中級から学ぶ日本語』（三訂版）研究社 関連科目：日本語 5B/5A 《日本語口頭表現Ⅰ／Ⅱ》 《日本語聴解Ⅰ／Ⅱ》
履修の留意点 Special Notes	
連絡先 Contact	場所：331研究室 オフィスアワー（及び時間帯）：木曜日4限目（この時間以外はアポにて対応） メールアドレス：miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 5 A (聴解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○		○		◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 5 にブレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	C Dを聞きながらメモを取り、要点を意識しながら話を聞き取る技術を身につける。また、聞き取った内容を他者に伝え共有することで理解を深めることができる。メインテキスト以外に、副教材や生の映像を使ってニュース等を視聴し、時事問題を聞き取る練習をする。自宅での復習はシャドウイングを中心に行う。
授業の目標 Learning Goals	A: 耳から入ってくる情報としての既習語彙や文法を正しく理解することができる C: 未習語彙の混ざったまとまった文章を最後まで集中して聞くことができる E: 聞きとった日本語の主旨を正しく把握し、自分のことばに言い換えて他者に発信することができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	"オリエンテーション『ニュースの日本語 2 課（一足先に夏、ビアガーデンオープン）』ブレイストミグ、単語・文型確認『アカデミック・ジャパニーズ』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語 2 課』スクリプトの発音練習
2	"クイズ、『ニュースの日本語 4 課（避難訓練）』ブレイストミグ、単語・文型確認『アカデミック・ジャパニーズ』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語 4 課』スクリプトの発音練習
3	"クイズ、『ニュースの日本語 6 課（お盆の帰省ラッシュ）』ブレイストミグ、単語・文型確認『聴くトレーニング（卒業論文）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語 6 課』スクリプトの発音練習
4	"クイズ、『ニュースの日本語 8 課（北海道で激しい雷雨）』ブレイストミグ、単語・文型確認『聴くトレーニング（四字熟語）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語 8 課』スクリプトの発音練習
5	"クイズ、『ニュースの日本語 10 課（意外と少ないジューンブライド）』ブレイストミグ、単語・文型確認『聴くトレーニング（留学生活）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語 10 課』スクリプトの発音練習
6	"クイズ、『ニュースの日本語 14 課（インフラ老朽化）』ブレイストミグ、単語・文型確認『聴くトレーニング（授業の登録）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語 14 課』スクリプトの発音練習
7	"クイズ、『ニュースの日本語 16 課（手を汚さずトウモロコシが食べられるコーンホルダー）』ブレイストミグ、単語・文型確認『聴くトレーニング（インターネットプログラム）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語 16 課』スクリプトの発音練習、 中間試験の準備
8	"『ニュースの日本語 18 課（スーパー銭湯に 2 か月、代金を払わず宿泊）』ブレイストミグ、単語・文型確認 中間試験"	『ニュースの日本語 18 課』スクリプトの発音練習

9	"クイズ、『ニュースの日本語20課（熱中症に注意）』ブレイントレーニング、単語・文型確認『聴くトレーニング（環境問題）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語20課』スクリプトの発音練習
10	"クイズ、『ニュースの日本語22課（電子書籍、マンガがリード）』ブレイントレーニング、単語・文型確認『聴くトレーニング（老人ホーム）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語22課』スクリプトの発音練習
11	"クイズ、『ニュースの日本語24課（独身男性の6割以上、「交際相手がない」）』ブレイントレーニング、単語・文型確認『聴くトレーニング（携帯電話の普及）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語24課』スクリプトの発音練習
12	"クイズ、『ニュースの日本語26課（一夜で銅像19体に赤い服）』ブレイントレーニング、単語・文型確認『聴くトレーニング（リハビリ）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語26課』スクリプトの発音練習
13	"クイズ、『ニュースの日本語28課（バイエリアの高層マンション、売れ行き好調）』ブレイントレーニング、単語・文型確認『聴くトレーニング（夏期休暇）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語28課』スクリプトの発音練習
14	"クイズ、『ニュースの日本語30課（変わった味のソフトクリーム）』ブレイントレーニング、単語・文型確認『聴くトレーニング（校外学習）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語30課』スクリプトの発音練習
15	"クイズ、『ニュースの日本語32課（福岡市職員に「禁酒令」）』ブレイントレーニング、単語・文型確認『聴くトレーニング（冷凍技術）』単語の確認、情報整理"	『ニュースの日本語32課』スクリプトの発音練習、期末試験の準備

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	50
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	15
授業への参加度など	15
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『中級からはじめるニュースの日本語 聴解40』 リー・ネットワーク
参考文献等 References	『新 毎日の聞きとり50日 上』 凡人社 関連科目：日本語5読解・日本語5口頭表現・日本語5文章表現
履修の留意点 Special Notes	『中級からはじめるニュースの日本語 聴解40』は必ず購入すること ・授業中の携帯電話は使用不可 ・遅刻3回で欠席1回とみなす ・教室内での飲食は厳禁 ・クラス状況によっては、授業スケジュールを変更する可能性がある
連絡先 Contact	研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限 メールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 6 A (口頭表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	中村 稔行	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		○	○	◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 6 にブレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	授業で扱うトピックについてのディスカッションやディベートを通して、日本語の理解力・表現力を高めるとともに自分の考えを深めていく。
授業の目標 Learning Goals	1) 日本語でのコミュニケーションに積極的に参加できる。 2) 自分の意見や考えを日本語で明確に伝えることができる。 3) 他者の考えを理解することで、自分の考えを深めることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	シラバスを読んで授業に臨む (1時間)
2	他者紹介	他者紹介の準備 (1時間)
3	課題 1「私にとって大学とは」の説明 全体でディスカッション	宿題メモ (1時間)
4	「私にとって大学とは」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1時間)
5	「私にとって大学とは」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1時間)
6	課題 1 スピーチと質疑応答	スピーチ準備 (2時間)
7	課題 2「私が考えていること」の説明 全体でディスカッション	宿題メモ (1 時間)
8	「私が考えていること」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1 時間)
9	「私が考えていること」 全体・グループでディスカッション	宿題メモ (1 時間)
10	課題 2 スピーチと質疑応答	スピーチ準備 (2時間)
11	課題 3 ディベートの説明 全体でディスカッション	宿題メモ (1 時間)
12	ディベート練習①	ディベートの準備 (1 時間)
13	ディベート練習②	ディベートの準備 (1 時間)
14	ディベート練習③	ディベートの準備 (1 時間)
15	課題 3 ディベート	ディベートの準備 (1 時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	50
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他 ふりかえりシート	20

教科書 Textbooks : Materials	授業時にプリントを配布する。
参考文献等 References	授業内で適宜紹介する
履修の留意点 Special Notes	(1)宿題は417研究室前にあるボックスに提出すること (2)やむを得ず欠席する場合は、必ず授業前に報告すること (3)この授業は講義形式ではなく学生主体の活動をベースに行われるため、積極的な参加が求められる (4)プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする (5)遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす
連絡先 Contact	417研究室 オフィスアワー：木曜日 4 限 tonakamura@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 6 A (文章表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	小谷 裕子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む 力	論理的思考力・問題解 決力	学習に取り組む態度・ 意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的なコミュニケー ション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 6 にブレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする
授業の概要 Contents	エッセイを書く作業を通して、正しい表記、正確な文法、適切な表現等、日本語の文章を書く力を伸ばす。授業で取り扱う課題の予習、エッセイの作成、発表の準備などの自宅学習を必須とする。エッセイの内容については、グループワークにより意見交換や文章の修正などを行う。
授業の目標 Learning Goals	A: 既習未習の文法項目を確実に理解し、長い文章の中でそれらを正確に使いこなすことができる B: それぞれのエッセイへのpeer reviewを通して、論理的に考えたり問題を解決したりすることができる。 E: グループでエッセイを修正する作業およびエッセイの発表と質疑応答などを通して、自分の意見を適切に表現し、他者の意見を正確に理解することができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスの確認、自己紹介、自己紹介シート記入、グループでエッセイのテーマ決めのディスカッション	原稿用紙の使い方の確認、第3課「自動詞・他動詞・受身」と第4課「呼応」の予習 (1時間)
2	自動詞・他動詞の形のルール、自動詞・他動詞・受身の使い分け、副詞/接続詞/主語/疑問詞との呼応	400字程度のエッセイ(1)作成 (1時間)
3	エッセイ(1)の peer review (構成・内容・表現・文法・誤字等のチェック)	エッセイ(1)の修正・発表準備 (1時間)
4	エッセイ(1)の発表、質疑応答、評価シート記入	第11課「辞書の危険性」と第12課「専門用語の選び方」の予習 (1時間)
5	文脈に合った言葉の選び方、学術的な文章を書く時の専門用語の選び方	600字程度のエッセイ(2)作成 (1時間)
6	エッセイ(2) peer review、エッセイ(1)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(2)の修正・発表準備 (1時間)
7	エッセイ(2)の発表、質疑応答、評価シート記入	第15課「接続詞と文章の構成」と第16課「読み手への配慮」の予習 (1時間)
8	接続詞の使い方、情報不足で分かりにくい文章を直す方法	600字程度のエッセイ(3)作成 (1時間)
9	エッセイ(3) peer review、エッセイ(2)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(3)の修正・発表準備 (1時間)
10	エッセイ(3)の発表、質疑応答、評価シート記入	第18課「レポートの基本的な書き方」の予習 (1時間)
11	複雑な内容を整理して書く方法	600～800字程度のエッセイ(4)作成 (1時間)
12	エッセイ(4)の peer review、エッセイ(3)の返却(個人的に評価・解説)	エッセイ(4)の修正・発表準備 (1時間)
13	エッセイ(4)の発表、質疑応答、評価シート記入	小論文の作成メモの作成練習 (1時間)
14	エッセイ(4)の発表、質疑応答、評価シート記入	期末試験に向けての総復習 (1時間)

15	まとめと振り返り	まとめと振り返り (1時間)
評価方法 Grading Policy		評価方法 Grading Policy
配分(%)		配分(%)
試験 (中間・期末)		30
期末レポートなど		
小テストなど		
宿題など		20
プレゼンテーションなど		10
授業時態度など		10
授業への参加度など		10
その他 (授業で書いたエッセイ)		20

教科書 Textbooks : Materials	石黒圭・筒井千絵著 『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』 スリーエーネットワーク、1600円 (税別)
参考文献等 References	友松悦子著 『小論文への12のステップ』 スリーエーネットワーク、1600円 (税別) 関連科目：日本語6 B/A 文章表現・読解・聴解・口頭表現
履修の留意点 Special Notes	クラスの状況に応じて、扱うトピックの内容や順番を変更することがある。
連絡先 Contact	メールアドレス：yukoktn@ybb.ne.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	文法や読解の問題が解けても、良い文章が書けるというわけではありません。また、文章に間違いがなくても、内容が素晴らしいかどうかは別問題です。自分の意見や考えを持ち、それをどのように伝えたいのかを心がけてください。
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 6 A (読解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	プレースメントテストで日本語 6 にプレースされた短期留学生
科目規定 Course Description	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	2000字程度の長文を読む練習を通して、読解力をつけることを目指す。読解に必要な語彙や表現を増やすために、毎回の授業開始時にクイズを行なう。本文の読みは主に自宅学習とし、教室内では読んだ内容について説明したり、コメントしたりする場とする。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が正確に速く読めるようになる B: 文章の内容を把握するために必要な情報を正確に把握し、それについて説明したり、自分の考えを述べたりすることができる E: 自分の意見や考えを他人に分かりやすく伝えることができる。また、他人の意見を正確に聞くことができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、自己紹介の作文を書く	第 2 課の予習 (2時間)
2	第 2 課 宇宙人のぼやき 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
3	第 2 課 宇宙人のぼやき 語彙テスト/読解	文法項目の予習 (1時間)
4	第 4 課 健康ブームの光と影 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
5	第 4 課 健康ブームの光と影 語彙テスト/読解	文法項目の予習 (1時間)
6	第 6 課 コンピュータ夢物語 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
7	第 6 課 コンピュータ夢物語 語彙テスト/読解	試験準備 (2時間)
8	復習テスト① (第 2 課、4 課、6 課)	文法項目の予習 (1時間)
9	第 8 課 コンピュータ夢物語 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
10	第 8 課 コンピュータ夢物語 語彙テスト/読解	文法項目の予習 (1時間)
11	第 10 課 青春のひとこま 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
12	第 10 課 青春のひとこま 語彙テスト/読解	文法項目の予習 (1時間)
13	第 12 課 動物たちの嘆き 文法解説	リーディングワークシート完成・語彙や学習した文法の復習 (1時間)
14	第 12 課 動物たちの嘆き 語彙テスト/読解	試験準備 (2時間)
15	復習テスト① (第 8 課、10 課、12 課)	総復習 (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	教科書の改訂が行われたため、授業開始後に購入すべき教科書を改めて指示する。
参考文献等 References	授業中に適宜指示する 関連科目：日本語 6 文章表現、口頭表現、聴解
履修の留意点 Special Notes	教員の指示に従って、必ず教科書を購入すること。
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜 4 限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 6 A (聴解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	田島 紀子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○		○		◎

履修要件 Prerequisites	日本語 6 にブレイスされた短期留学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	日本で身近に起きている出来事に対して、インターネットで配信されているニュースや動画、映画を使いながら、日本社会に対する深い理解とより高度な日本語能力を身につける。
授業の目標 Learning Goals	A: ニュースや動画、映画を見て理解するために、必要な語彙や表現を習得し、使用することができる C: 多様なメディア（特にインターネット）から必要な情報を選んで、まとめることができる、 E: 授業で扱うトピックについて、理解を深めつつその内容について意見交換ができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバス（授業計画、評価方法）の確認 授業前アンケート 聞き取り課題 についての説明および実践練習	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
2	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
3	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
4	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	確認テストに向けての準備(1時間)
5	確認テスト①	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
6	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
7	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
8	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	確認テストに向けての準備(1時間)
9	確認テスト②	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
10	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
11	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	確認テストに向けての準備(1時間)
12	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
13	確認テスト③	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
14	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)
15	時事ニュース・関連動画を見たあと、討議	興味関心のあるニュース動画を選び、まとめてくる。(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	60
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	特になし
履修の留意点 Special Notes	関連科目：その他の日本語 6 B/A 授業 時事ニュースや関連動画などに関する役立つ情報、授業の諸注意などは、オリエンテーションで詳しく説明する予定。
連絡先 Contact	メールアドレス：cloverdale1027@yahoo.co.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	出来るだけ多くの生の日本語（日本語教材以外）に触れます。
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 7 A (口頭表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	川崎 加奈子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
		○	○	◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 7 にプレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に口頭表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	場面に応じた効果的なコミュニケーションを、相手に対する配慮が日本語にどう現れるかを理論的に考察しながらグループで考える。“正しい日本語”を覚えるのではなく、グループ討議をすることを通してコミュニケーション力そのものの向上を目指す。同時に、学期を通して自分や周囲の発話を観察し分析する姿勢を養う。教材には、話し方の教科書と、生の日本語分析のためのテレビドラマ等の映像を用いる。
授業の目標 Learning Goals	C: リレー発表・質疑応答・ピア評価を通じて、クラス内での責任を全うしより質の高い発表について考え続けることができるようになる D: 発表者への質問とピア評価によって、プレゼンテーション力及びコミュニケーション力をクラス全体で相互に高め合う協働学習の効果を知る E: 自分の社会背景や考えを効果的に伝えるための言語技術及び発表技術を高める

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	シラバスを読んで授業の目的を知る (1 時間)
2	映画「ブタがいた教室」前半視聴、グループ討議	視聴部分のあらすじと、それに対する自分の意見をまとめる (1 時間)
3	映画「ブタがいた教室」前半視聴、グループ討議	視聴部分のあらすじと、それに対する自分の意見をまとめる (1 時間)
4	映画「ブタがいた教室」後半視聴、グループ討議	視聴部分のあらすじと、それに対する自分の意見をまとめる (1 時間)
5	映画「ブタがいた教室」後半視聴、グループ討議	視聴部分のあらすじと、それに対する自分の意見をまとめる (1 時間)
6	落語『寿限無』の視聴、発話練習	台本を声に出して読む練習をする (1 時間)
7	『寿限無』を使った発話練習	台本を声に出して読む練習をする (1 時間)
8	一分間スピーチ、『寿限無』を使った発話練習	台本を声に出して読む練習をする、一分間スピーチ準備 (1 時間)
9	一分間スピーチ、『寿限無』を使った発話練習	台本を声に出して読む練習をする、一分間スピーチ準備 (1 時間)
10	一分間スピーチ、グループ討議のことば	グループ討議で使うことばを考える、一分間スピーチ準備 (1 時間)
11	一分間スピーチ、グループ討議「アンペロスの規則について」①	"テーマについての語彙を増やし、自分の考えをまとめる一分間スピーチ準備 (1 時間) "
12	一分間スピーチ、グループ討議「アンペロスの規則について」②	"テーマについての語彙を増やし、自分の考えをまとめる一分間スピーチ準備 (1 時間) "
13	一分間スピーチ、グループ討議「喫煙について」	"テーマについての語彙を増やし、自分の考えをまとめる一分間スピーチ準備 (1 時間) "

14	一分間スピーチ、グループ討議「夫婦別姓について」	"テーマについての語彙を増やし、自分の考えをまとめる一分間スピーチ準備（1時間）"
15	ファイナルスピーチ、ピア評価	ファイナルスピーチ準備の練習（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	25
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	55
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『日本語を話すトレーニング』野田尚史 1,100円+税
参考文献等 References	授業内で適宜紹介する 関連科目：日本語 7 の文章表現、聴解、読解
履修の留意点 Special Notes	・プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする ・授業中の携帯電話は使用不可 ・遅刻 3 回で欠席一回とみなす ・教室内での飲食は厳禁 ・クラス状況によっては、授業スケジュールを変更する可能性がある
連絡先 Contact	場所：研究室302 オフィスアワー（及び時間帯）：水曜 3 限 メールアドレス：〇〇@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp（「〇〇」にkawasaki）
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 7 A (文章表現)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聡子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む 力	論理的思考力・問題解 決力	学習に取り組む態度・ 意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的なコミュニケー ション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	日本語7にプレイスされた、上級レベルの日本語力を持っている学生。
科目規定 Course Description	習熟度別に文章表現を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	本授業では、高度な日本語の知識に関して学習するとともに、相手に伝わりやすくわかりやすい文章を書くことを目指します。各自がテーマを設定し、そのテーマについて小論文を書いていきます。また本授業では、書くだけでなく、お互いにそれを読み、peer reviewを行うことで、書いている小論文をより洗練させていきます。
授業の目標 Learning Goals	A: 「高度な日本語で文章を書く際の総合的な知識について理解する」ことを目指します。 B: 「各自のテーマについて、理論立ててテーマを追求し、その結果を文章に表現できる」ことを目指します。 E: 「peer reviewを通して、建設的な意見交換を行うためのスキルとコミュニケーション力を身につける」ことを目指します。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、自己紹介作文を書く	課題プリント (1時間)
2	Eメールのマナー／書き言葉・話し言葉の違い①	Eメールを作成して教員に送る (1時間)
3	Eメールのマナー／書き言葉・話し言葉の違い②	授業内容の復習 (1時間)
4	ジャンルによる書き言葉の違い	授業内容の復習 (1時間)
5	引用の方法 参考資料、参考文献の書き方	授業内容の復習 (1時間)
6	ここまでの復習 確認テスト	課題プリント (1時間)
7	課題1 新聞記事を引用して意見文を書く	レポート第1稿を書き、提出する (2時間)
8	課題1 個別指導	フィードバックを踏まえ、修正する (2時間)
9	課題1 ピアラーニング (クラスメート同士で読み合い、コメントする)	フィードバックを踏まえ、レポートを完成させる。(1時間)
10	課題2 要約の仕方	要約文を作成する (1時間)
11	課題2 要約の仕方 フィードバック	要約文を完成させる (1時間)
12	PPTスライドの作成の仕方	授業内容の復習 (1時間)
13	課題3 新聞記事を引用して意見文を書く	レポート第1稿を書き、提出する (2時間)
14	課題3 個別指導	フィードバックを踏まえ、修正する (2時間)
15	課題3 ピアラーニング (クラスメート同士で読み合い、コメントする)	フィードバックを踏まえ、レポートを完成させる (2時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	20
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	特定のものは使用しない
参考文献等 References	『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ練習』スリーエーネットワーク 『論文作成のための文章力向上プログラム』大阪大学出版会 ほか必要に応じて適宜紹介する 関連科目：日本語 7 の口頭表現、聴解、読解
履修の留意点 Special Notes	課題には真摯に取り組んで下さい。レポートに関しては、最終的にネイティブチェックを経て提出してもらいます。ネイティブチェックをお願いできる日本語母語話者とのネットワークをあらかじめ構築しておいてください。
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー：木曜 4 限 メールアドレス：smiyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 7 A (読解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	貞松 明子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む 力	論理的思考力・問題解 決力	学習に取り組む態度・ 意欲	コラボレーションと リーダーシップ	効果的なコミュニケー ション力
○	○			◎

履修要件 Prerequisites	JASIN/NICSプログラムにおいて日本語 7 にブレイスされた学生
科目規定 Course Description	習熟度別に読解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	教科書の偶数課を使い、内容を正確に速く理解する練習を行う。そして、その内容について説明したり、自分の意見や考えを述べたりする。新聞記事など生の素材を用いることもある。主に読む作業は自宅学習とし、教室内では、読んできた文章についてのディスカッションを通して、異なる視点からも理解を深める場とする。教科書に掲載されているのは一部分なので、関心がある1冊を選び、通して読んでみる。各自読んだものを持ち寄って、コースの半ばにミニ発表、終わりにビブリオバトル（知的書評合戦）を行う。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を増やすことで まとまった長さの文章が正確に速く読めるようになる B: 文章の内容を把握するために必要な情報を正確に把握し、それについて説明したり、自分の考えを述べたりすることができる E: 自分の意見や考えを他人に分かりやすく伝えることができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション 新聞を読む①	第4課の予習 (1時間)
2	第4課 「靴」	第2課の予習 (1時間)
3	第2課 「愛情としつけ」	第6課の予習 (1時間)
4	第6課 「主人」から「夫」へ	新聞②の予習 (1時間)
5	新聞を読む②	新聞記事の内容について感想を書く (1時間) 第8課の予習 (1時間)
6	第8課 「わすれ傘」	第10課の予習 (1時間)
7	第10課 「魚の骨」	第12課の予習 (1時間)
8	第12課 「国字作成のメカニズム」	ミニ発表会の準備 (1時間)
9	ミニ発表会	第14課の予習 (1時間)
10	第14課 「ソムリエの妻」	第16課の予習 (1時間)
11	第16課 「鼻」	第16課の問題 (1時間)
12	第16課 「鼻」	第18課の予習 (1時間)
13	第18課 「源氏物語」 (冒頭)	ビブリオバトルの準備 (1時間)
14	ビブリオバトル用レジュメ作成	ビブリオバトルの準備 (1時間)
15	ビブリオバトル	ビブリオバトルの準備 (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	70
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『日本文化を読む（上級者向け）』 京都日本語教育センター/アルク ※必ず購入すること
参考文献等 References	授業内で適宜紹介する 関連科目：日本語 7 の文章表現、聴解、口頭表現
履修の留意点 Special Notes	指定された教科書を必ず購入すること 授業の前に必ず予習をしてくること プレゼンテーションの評価は、一部ピア評価とする
連絡先 Contact	haruko.sdmt@gmail.com
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本語 7A (聴解)	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○		○		◎

履修要件 Prerequisites	レベル7にプレイスされた短期留学生
科目規定 Course Description	習熟度別に聴解を中心に総合的な日本語能力の向上を目的とする。
授業の概要 Contents	日本で身近に起きている出来事に対して、インターネットで配信されているニュースや動画、映画を使いながら、日本社会・文化に対する深い理解とより高度な日本語能力を身につける。
授業の目標 Learning Goals	A: ニュース動画／ドラマ／映画などの教材から社会的・文化的背景を理解し、その内容をまとめることができる。 C: インターネットから興味・関心のあるニュースを選び、正確に内容を要約し、説明することができる。 E: 学生同士や関係者との円滑なコミュニケーションができるようになる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	オリエンテーション時配布の資料の熟読 (1時間)
2	「孤独のグルメ」 Season2 Vol.1の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
3	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 2の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
4	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 3の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
5	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 4の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
6	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 5の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
7	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 6の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
8	前半のまとめ	中間課題作成 (1時間)
9	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 7の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
10	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 8の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)

11	「孤独のグルメ」 Season2 Vol. 9 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
12	「孤独のグルメ」 Season2 Vol.10 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
13	「孤独のグルメ」 Season2 Vol.11 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
14	「孤独のグルメ」 Season2 Vol.12 の視聴と討議 (1) グループ内討議 (2) 全体討議	内容、新出語彙の復習 (1時間)
15	後半のまとめ	期末課題作成 (1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	50
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	30
授業時態度など	20
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『孤独のグルメ Season2』 原作 : 久住昌之、主演 : 松重豊
参考文献等 References	授業で適宜紹介する。
履修の留意点 Special Notes	1. 辞書を必ず持ってくること。 2. 全体討議では積極的な発言が求められます。ただ黙っているだけでは、評価は下がります。
連絡先 Contact	研究室 : 417 オフィスアワー : 月曜日3限 メールアドレス : otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	応用日本語Ⅲ【日本語8】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	松本 真輔	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	ブレイズメントテストで日本語8のレベルにブレイズされた学生（日本語能力試験N1合格程度の日本語力が必要）
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	現代日本語との共通点、相違点を踏まえながら、古典文学作品を講読する際の足がかりとなる基礎的な文法知識（助動詞・助詞を中心に）の習得を目指します。古典文学作品に親しむと同時に、その背景となる、文化的・社会的な背景についても目を向けます。授業では『百人一首』を素材に学習を進める。毎時間、前回の授業内容を確認するために設問調査（小試験）を行います。この授業は学生参加が基本ですので、受講者が発言・発表する機会が頻繁にあります。
授業の目標 Learning Goals	古典日本語の基礎的な知識を身につける。その上で、 A: 古典日本語の基礎的な知識を身につける。 B: 類推力を養うことで、文脈から記述内容がおおよそ読み取れる。 E: 現代日本語に残る古典日本語文法（文語的表現）を把握し、自身の日本語力を豊かなものにする。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	1) シラバス（授業計画、評価方法）の確認 2) 授業前アンケート 3) 『百人一首』の紹介	教科書の概要を把握する（1時間）
2	1) 古典文法と現代文法の違いを理解する。 2) 授業を進める際に使われる文法用語を理解する。	古典語と現代語の仮名遣いの違いを確認する。また、品詞を区別できるようにする。（1時間）
3	日本語の成り立ちについて理解する。	文字としての日本語の成立について説明できるようにする。（1時間）
4	1) 動詞の種類を理解する。 2) 四段動詞の活用を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
5	上一段・下一段・カ変・サ変動詞を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
6	ナ変・ラ変・上一段・下一段動詞を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、動詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
7	形容詞・形容動詞の種類と活用について理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、形容詞の活用について説明できるようにする。（1時間）
8	助動詞とは何かを理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞について説明できるようにする。（1時間）
9	助動詞「ず」「む」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「ず」「む」について説明できるようにする。（1時間）
10	助動詞「き」「し」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「き」「し」について説明できるようにする。（1時間）
11	助動詞「けり」「つ」「ぬ」「たり」「り」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「けり」「つ」「ぬ」「たり」「り」について説明できるようにする。（1時間）
12	助動詞「す」「さす」「なり」を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助動詞「す」「さす」「なり」について説明できるようにする。（1時間）

13	1) 助詞の働きと省略を理解する。 2) 係助詞を理解する。	授業で学んだ和歌を覚え、助詞について説明できるようにする。(1時間)
----	-----------------------------------	------------------------------------

14	敬語の種類を理解する。	授業で学んだ教材をもとに、古典文法の敬語について、現代語との違いを念頭において説明できるようにする。(1時間)
15	授業のまとめ	半年の授業を振り返り、学んだ和歌や文法事項について説明できるようにする。(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	80
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	吉海直人『暗唱百人一首』(永岡書店、2014年)
参考文献等 References	『社会人のためのビジュアルカラー国語百科』(教育研究メディアセンター 請求記号 : 910.2/Ta24)
履修の留意点 Special Notes	新しい知識をどんどん紹介するので、毎回復習は欠かさないように。
連絡先 Contact	場所 : 301 オフィスアワー(及び時間帯) : 水曜 4 限 メールアドレス : matsumoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	もう少しゆったり授業をします。
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	応用日本語Ⅳ【日本語 8】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	安田 真由美	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	プレースメントテストで日本語8のレベルにプレイスされた学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	いま日本で話題になっているニュースや書籍、新聞記事を取り上げ、その内容について理解するとともに、レジュメを作成して他の人に説明する。そして、その内容から気になる個所や問題となる個所について他人とディスカッションを行い、異なる視点からも理解を深める。
授業の目標 Learning Goals	A: 語彙や表現を広げ、ニュースや書籍、新聞記事を速く正確に理解することができる B: 書籍や新聞記事などから、問題となる個所や気になる個所を具体的に指摘することができる E: 問題となる個所や気になる個所について、他の人と討議することができる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション／新聞記事 1	復習、次の読み物の予習(1時間)
2	新聞記事 2	復習、次の読み物の予習(1時間)
3	新聞記事 3	復習、次の読み物の予習(1時間)
4	学生による記事の紹介①／新聞記事 4	復習、次の読み物の予習(1時間)
5	学生による記事の紹介②／新聞記事 5	復習、次の読み物の予習(1時間)
6	学生による記事の紹介③／新聞記事 6	復習、次の読み物の予習(1時間)
7	学生による記事の紹介④／新聞記事 7	復習、次の読み物の予習(1時間)
8	学生による記事の紹介⑤／新聞記事 8	復習、次の読み物の予習(1時間)
9	学生による記事の紹介⑥／新聞記事 9	復習、次の読み物の予習(1時間)
10	学生による記事の紹介⑦／新聞記事 10	復習、次の読み物の予習(1時間)
11	学生による記事の紹介⑧／新聞記事 11	復習、次の読み物の予習(1時間)
12	学生による記事の紹介⑨／新聞記事 12	復習、次の読み物の予習(1時間)
13	学生による記事の紹介⑩／新聞記事 13	復習、次の読み物の予習(1時間)
14	新聞記事 14	復習、次の読み物の予習(1時間)
15	新聞記事 15／まとめ	復習(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	20
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	40
授業時態度など	5
授業への参加度など	15
その他	

教科書 Textbooks : Materials	授業開始後指示する。
参考文献等 References	授業開始後指示する。
履修の留意点 Special Notes	詳細な評価方法は、授業開始後示す。
連絡先 Contact	研究室：3 3 9 オフィスアワー：火曜日4限 メールアドレス：yasuda@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	応用日本語Ⅴ【日本語Ⅷ】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	新居田 純野	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	(ブレイズメントテスト等により) 日本語Sレベルへの参加が許可されている日本語能力検定試験 N1 取得者
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	各自のテーマに沿った高度な論理的な文章の作成(5000字以上)に向けて、論文を組み立てるための知識及び文章作成能力の実践的な養成を目指す。
授業の目標 Learning Goals	A: 研究するテーマを自分で考えて決め、研究対象に選んだ専門分野の知識を修得した上で研究方法を体得する。 B: 自らが修得した情報や知識を論理的にまとめ、正確な日本語の文章で論理的に表現することができる。 E: 論文内容に関する意見提出及び自分の考えを提出して、意見交換ができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	"シラバス(授業計画、評価方法)の確認、授業内容、論文作成スケジュールについて確認。研究テーマを決める際の注意事項について説明。"	"今一番関心のある三つのテーマとその概略について次回までに考えてくる。また関心のあるテーマに関する論文を一つ探してくる。"
2	"各自のテーマ・内容について紹介する。研究内容に即した参考論文となる論文の探し方について解説。(ネット上での検索を中心に: CiNiiの使い方、県内図書館縦断検索など)"	考えた三つのテーマに関する先行研究論文や書籍などの収集をする。
3	"論文を書く前にすべきことの再確認。(テーマの重要性) 一般的な論文構成について解説した後に各自持参した論文をもとに、論文の構成について確認。研究内容によっても様々な論文の書き方があることを再認識してもらう。"	"各自が収集した先行研究の構成等を中心に論文分析をしてくる。(内容、構成、引用文献の書き方、先行研究の表記など)"
4	"論文分析(宿題)のチェック。 ネット上の検索エンジンを使って関係論文の探し方を個々に指導する。収集した先行研究のリストをおよび概要を作成する。 "	"授業内で書く予定である論文のテーマ、概要をまとめる。 参考文献の収集を引き続き行う。"
5	"各自は書く論文の概要を作成し、確認およびアドバイスを受けたうえで、修正を行なう。"	自分の最終論文のテーマ、問題提起、研究の方法、論文の構成、研究の背景、先行研究のまとめ、予想される結論等の概要を作成する。
6	"各自作成の最終論文に関する概要をまとめたものを冊子にして配布。それぞれの論文について、疑問点およびコメントを書く。"	クラスメートから出された疑問点について回答、解説をレポート形式で作成する。
7	"コメント・疑問に対する回答、解説をチェック。 収集した先行研究の内容をまとめる。アドバイスを受けたのち修正する。 "	先行研究のまとめの完成、および研究背景についてまとめる。

8	"本論の作成(1) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。
9	"本論の作成(2) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。

10	"本論の作成(3) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。
11	"本論の作成(4) 内容、構成、章だてについてその都度教員のアドバイスをうけて修正していく。"	本論の下書きを進めて、できたところまでを毎週チェックを受けて、修正していく。
12	本論が完成したら、「はじめに(序論)」「おわりに(結論／まとめ)」の修正に入る。内容の確認およびアドバイスを受けたうえで、さらなる修正を行なう。	論文の完成版を提出。
13	"各自の論文を冊子にして配布。それぞれの完成論文について、評価を行なったうえで、疑問点およびコメントを書く。"	クラスメートから出された疑問点について回答、解説をレポート形式で作成する。
14	発表のためのレジュメ、PPT、研究計画書を作成のうえ、発表をする。	論文の最終修正をする。
15	"講評"	これまでの学習をもとに、さらに論文を発展するための資料集めおよび今後の研究の方向性を考える。

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	60
小テストなど	
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	20
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks :	配布プリント,生教材
Materials	
参考文献等 References	授業内で紹介する 関連科目: その他の応用日本語科目
履修の留意点 Special Notes	欠席する/した場合は必ず授業前/後に連絡し、次回授業前に研究室に来て課題を受け取って次回の授業で提出すること。
連絡先 Contact	場所: 307 オフィスアワー(及び時間帯): 火曜日4限 メールアドレス: niida@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケートへのコメント Comment on student feedback from previous year's course	各自の作成論文の指導を授業外時間にまで広げて、個々に議論、修正の時間を十分に取って丁寧な指導を進めていく。
科目実施後の振り返りや改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	応用日本語Ⅷ【日本語 8】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聖乃	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	ブレイズメントテストで日本語8のレベルにブレイズされた学生
科目規定 Course Description	ひとつに特化したテーマに沿って学習していきながら、総合的な日本語能力向上を目的とする。
授業の概要 Contents	夏目漱石、村上春樹、金城一紀など日本語の近・現代小説とその映像化作品を取り上げ、作品を味わうとともに日本の社会・文化に対する理解を深める。読解ではあらかじめ配布する語彙シートを使って語彙や表現を増やすとともに内容を予測して読み進め、読む前と後にディスカッションを行う。学期中2回のビブリオバトルを行う。この授業を通して、日本の小説がより身近なものになることを期待する。扱う作品は受講生によって変更することがある。
授業の目標 Learning Goals	A: 既習の知識を活かし、小説や映像作品を理解することができる。 B: 社会的・文化的コンテクストを理解し、小説や映像作品を鑑賞・評価することができる。 E: 他者に配慮しつつ、自分の意見や感想、予測を述べるすることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、教材①小説「夢十夜 第一夜」（夏目漱石）読む前に	教材①語彙シート（前半）の予習(1時間)
2	教材①小説「夢十夜―第一夜」（前半）／ディスカッション	教材①語彙シート（後半）の予習(1時間)
3	教材①小説「夢十夜―第一夜」（後半）／ディスカッション	感想をまとめる(1時間)
4	教材②映画「ユメ十夜 第六夜／第七夜」視聴／ディスカッション	映画「ユメ十夜 第七夜」あらすじ(1時間)
5	教材③小説「4月のある晴れた日に100パーセントの女の子と出会うことについて」（村上春樹「カンガルー日和」より）／ディスカッション	教材③語彙シートの予習(1時間)
6	教材④小説「チーズケーキの形をした僕の貧乏」（村上春樹「カンガルー日和」より）	教材④語彙シートの予習(1時間)
7	ビブリオバトル	ビブリオバトルの準備（ppt作成）(1時間)
8	教材⑤映画「GO」前半	教材⑤ワークシート(1時間)
9	教材⑤映画「GO」前半	教材⑤ワークシート(1時間)
10	教材⑤映画「GO」後半	教材⑤ワークシート(1時間)
11	教材⑤映画「GO」後半	教材⑤ワークシート(1時間)
12	教材⑥小説「GO」（金城一紀）	教材⑥語彙シートの予習(1時間)
13	教材⑦小説「ユヒ」（李良枝）	教材⑦語彙シートの予習(1時間)
14	教材⑦小説「ユヒ」（李良枝）	教材⑦語彙シートの予習(1時間)
15	ビブリオバトル	ビブリオバトルの準備（ppt作成）(1時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	40
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	授業内で配布
参考文献等 References	授業内で紹介 関連科目：その他の応用日本語科目
履修の留意点 Special Notes	特になし
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー： 木曜4限（この時間以外はアポにて対応） メール： miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日中翻訳演習 1A①	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	楊 曉安	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	特に厳しい前提条件は付けません。
科目規定 Course Description	様々なテキストを用いて、日本語と中国語を相互に翻訳する基礎的な能力を養う。
授業の概要 Contents	本講では、日本語を中国語に翻訳するための基本的な方法と技巧を教授する。すでに学生は日本語を中国語に翻訳する基本的な知識を習得しているが、複雑な句や短文の翻訳についてはさらに進んだ専門的な学習が必要である。そこで、本講では三段階に分けて講義と訓練を進める。第一段階では短文の翻訳の構造を復習し、まず学生に日本語と中国語の基本的な構造上の対応関係を理解させ、最も基本的な文型が比較的流暢に翻訳できるようにする。第二段階では雑誌や新聞のニュースなどの翻訳を通して中国語表現の構造を整理し、比較的複雑ではあるが、やや短めの文章を正確に翻訳することに留意する。第三段階では具体的に代表的な日本の散文、小説を選んで翻訳を進める。この段階では原文の意味の正確な翻訳に心がけ、構文とことばの美しさに留意しつつ、さまざまな翻訳を対比させながら、日本語を中国語に翻訳するための技巧を身につけさせたい。
授業の目標 Learning Goals	(1) 翻訳についての基本的な認識を確立し、中国語と日本語の間での翻訳における特徴を理解すること。 (2) さまざまな文章の翻訳を通じて、翻訳の理論と実践についての基礎を固めること。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	受け身構文の翻訳 日中両言語の受け身表現の比較 日本語受け身表現、直接受け身、間接受け身(迷惑の受身と持主受身) 各類型受け身文の翻訳 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 600字文章の翻訳 (二時間)
2	使役構文の翻訳 日中両言語の使役表現の比較 日本語の使役表現、被役表現、使役の助動詞、使役動詞 各類型使役文の翻訳 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 1000字文章の翻訳 (二時間)
3	た・ているの翻訳 「た」形の用法: 完了、さしそめた要求や命令、忘れていたことの想起、確認、期待していたことの実現 「ている」の用法: 動作の進行・継続、結果の状態を表す、実現・未実現、反復、経歴・記録、性質・特徴 各類型「た」「ている」文の翻訳 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 800字文章 (二時間)
4	文章の翻訳(1) 乙武洋匡『五体不満足』の選訳	宿題: 1200字文章の翻訳 (二時間)
5	転換と翻訳 転換: 品詞の転換、肯定・否定の転換、単文・複文の転換、主動文・受動文の転換、受動文・使役文の転換、疑問・推測・命令・呼びかけ・誇張など表現の転換 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 850字文章の翻訳 (二時間)
6	否定と反対訳 日本語の否定表現: 全否定・部分否定、二重否定・多重否定 反対訳: 肯定→否定、否定→肯定 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 800字文章の翻訳 (二時間)

7	語順と順訳・逆訳 概念訳と説明訳を使い分ける 順訳・逆訳を適用する 文章の流れをつくる 文章の翻訳	宿題：1200字文章の翻訳 (二時間)
8	長文の分訳と短文の合訳 長文構造と短文構造 長文と短文の表現の比較 分訳の 語順 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題：1200字文章 (二時間)
9	文章の翻訳(2)[情景の描写] 安部公房『砂の女』の選訳	宿題：800字文章の翻訳 (二時間)
10	文章の翻訳(3)[回想録] 村上春樹『ノルウェイの森』の選訳	宿題：1000字文章の翻訳 (二時間)
11	文章の翻訳(4)[会話文] 石川達三『青春の蹉跎』の選訳	宿題：1500字文章の翻訳 (二時間)
12	文章の翻訳(5)[小説] 夏目漱石『坊っちゃん』の選訳	宿題：1500字文章の翻訳 (二時間)
13	詩の翻訳 詩の翻訳の基準 和歌と俳句の翻訳 現代詩の翻訳 歌詞の翻訳	宿題：海援隊『贈る言葉』(歌詞)の翻訳 (二時間)
14	総合復習 多種類作品の翻訳の比較 芥川龍之介『手巾』の翻訳①	宿題：1000字文章の翻訳 (二時間)
15	授業の総括 授業内容の総復習 芥川龍之介『手巾』の翻訳②	宿題：800字文章の翻訳 (二時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	日中、中日翻訳、通訳に関する本
履修の留意点 Special Notes	筆記用具、辞書を必携すること
連絡先 Contact	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日中翻訳演習 1A②	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	楊 曉安	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	特に厳しい前提条件は付けません。
科目規定 Course Description	様々なテキストを翻訳することによって、日本語を中国語に翻訳する技術の基礎的能力を養成する。
授業の概要 Contents	本講では、日本語を中国語に翻訳するための基本的な方法と技巧を教授する。すでに学生は日本語を中国語に翻訳する基本的な知識を習得しているが、複雑な句や短文の翻訳についてはさらに進んだ専門的な学習が必要である。そこで、本講では三段階に分けて講義と訓練を進める。第一段階では短文の翻訳の構造を復習し、まず学生に日本語と中国語の基本的な構造上の対応関係を理解させ、最も基本的な文型が比較的流暢に翻訳できるようにする。第二段階では雑誌や新聞のニュースなどの翻訳を通して中国語表現の構造を整理し、比較的複雑ではあるが、やや短めの文章を正確に翻訳することに留意する。第三段階では具体的に代表的な日本の散文、小説を選んで翻訳を進める。この段階では原文の意味の正確な翻訳に心がけ、構文とことばの美しさに留意しつつ、さまざまな翻訳を対比させながら、日本語を中国語に翻訳するための技巧を身につけさせたい。
授業の目標 Learning Goals	(1) 翻訳についての基本的な認識を確立し、中国語と日本語の間での翻訳における特徴を理解すること。 (2) さまざまな文章の翻訳を通じて、翻訳の理論と実践についての基礎を固めること。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	受け身構文の翻訳 日中両言語の受け身表現の比較 日本語受け身表現、直接受け身、間接受け身(迷惑の受身と持主受身) 各類型受け身文の翻訳 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 600字文章の翻訳 (二時間)
2	使役構文の翻訳 日中両言語の使役表現の比較 日本語の使役表現、被役表現、使役の助動詞、使役動詞 各類型使役文の翻訳 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 1000字文章の翻訳 (二時間)
3	た・ているの翻訳 「た」形の用法: 完了、さしそめた要求や命令、忘れていたことの想起、確認、期待していたことの実現 「ている」の用法: 動作の進行・継続、結果の状態を表す、実現・未実現、反復、経歴・記録、性質・特徴 各類型「た」「ている」文の翻訳 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 800字文章 (二時間)
4	文章の翻訳(1) 乙武洋匡『五体不満足』の選訳	宿題: 1200字文章の翻訳 (二時間)
5	転換と翻訳 転換: 品詞の転換、肯定・否定の転換、単文・複文の転換、主動文・受動文の転換、受動文・使役文の転換、疑問・推測・命令・呼びかけ・誇張など表現の転換 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 850字文章の翻訳 (二時間)
6	否定と反対訳 日本語の否定表現: 全否定・部分否定、二重否定・多重否定 反対訳: 肯定→否定、否定→肯定 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題: 800字文章の翻訳 (二時間)

7	語順と順訳・逆訳 概念訳と説明訳を使い分ける 順訳・逆訳を適用する 文章の流れをつくる 文章の翻訳	宿題：1200字文章の翻訳 (二時間)
8	長文の分訳と短文の合訳 長文構造と短文構造 長文と短文の表現の比較 分訳の 語順 文章の翻訳	学修内容の復習 宿題：1200字文章 (二時間)
9	文章の翻訳(2)[情景の描写] 安部公房『砂の女』の選訳	宿題：800字文章の翻訳 (二時間)
10	文章の翻訳(3)[回想録] 村上春樹『ノルウェイの森』の選訳	宿題：1000字文章の翻訳 (二時間)
11	文章の翻訳(4)[会話文] 石川達三『青春の蹉跎』の選訳	宿題：1500字文章の翻訳 (二時間)
12	文章の翻訳(5)[小説] 夏目漱石『坊っちゃん』の選訳	宿題：1500字文章の翻訳 (二時間)
13	詩の翻訳 詩の翻訳の基準 和歌と俳句の翻訳 現代詩の翻訳 歌 詞の翻訳	宿題：海援隊『贈る言葉』(歌詞)の翻訳 (二時間)
14	総合復習 多種類作品の翻訳の比較 芥川龍之介『手巾』の翻訳①	宿題：1000字文章の翻訳 (二時間)
15	授業の総括 授業内容の総復習 芥川龍之介『手巾』の翻訳②	宿題：800字文章の翻訳 (二時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	日中、中日翻訳、通訳に関する本
履修の留意点 Special Notes	辞書は必携。電子辞書でも構いません。
連絡先 Contact	xiaoan@nagasaki-u.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日中翻訳演習 2 A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	趙 紅林	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	初中レベルの日本語能力有する中国留学生向けの講義
科目規定 Course Description	
授業の概要 Contents	日本語を中国語に訳すことを目的とする科目である。最初に簡単な文章を翻訳することから初め、徐々に新聞、雑誌、小説などに、掲載される記事や文章を訳す。
授業の目標 Learning Goals	A：中国語と日本語の言語構造の特徴を理解し、翻訳する時の対応法を習得すること。 B：和文中訳の演習を通して、翻訳のテクニックを身につけること。 C：翻訳によって、日本の伝統、文化、社会への理解を一層深める。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業について、授業外学習などについて	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
2	翻訳の一般技法(1)	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
3	翻訳の練習	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
4	翻訳の一般技法(2)	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
5	翻訳の練習	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
6	翻訳の一般技法(3)	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
7	翻訳の練習	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
8	中間テスト	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
9	短文翻訳	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
10	短文翻訳	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
11	通訳について、二人一組で通訳演習	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
12	文章の翻訳	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
13	文章の翻訳	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
14	通訳演習	グループで日本の新聞や雑誌から300文字以上の文章を訳す練習すること。(1時間)
15	まとめ、試験について	試験前の準備

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	10
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布など
参考文献等 References	日中、中日翻訳通訳に関する本など
履修の留意点 Special Notes	筆記用具、辞書を必携すること
連絡先 Contact	非常勤控え室 (木・金) 12 : 30 から授業前後 hu5jp@higbbiq
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日韓翻訳演習ⅡA	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	梁 正善	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	N1に合格していること。
科目規定 Course Description	様々なテキストを用いて、日本語と韓国語を相互に翻訳するより高度な能力を養う。
授業の概要 Contents	韓国語母語話者の留学生を対象として主に翻訳のための基礎的な事項について学ぶ。また、対照言語学的な視点から日本語から韓国語への翻訳の際に注意すべき点、発想や表現の差異などについて考察する。Snsの活動を積極的にすること。
授業の目標 Learning Goals	A: 日本語力に加えて、翻訳に必要な母語力をレベルアップさせる。 B: 翻訳への基礎知識を分野別に踏まえてから、実践的な翻訳演習へと。 E: 翻訳を通してより自然なコミュニケーションを目指す。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション及び翻訳の小テスト、論文に関する講義。新聞記事を翻訳する際の注意事項。論文を配布。	次回の授業に使われる新聞記事の課題を日韓翻訳演習 NAVER CAFÉに載せること。翻訳に関する小論文を読みそれぞれ予約してくること。(2時間)
2	雑誌記事の翻訳を発表。	漫画翻訳の課題を日韓翻訳ネットカフェに載せること。(2時間)
3	論文予約の発表。漫画翻訳に関する注意事項を講義。漫画翻訳をそれぞれ発表。	次の課題となる小説課題を指示した日付までNAVER CAFÉに載せること。(2時間)
4	漫画翻訳の発表。それぞれ漫画翻訳に関する翻訳ポイントを発表。次の小説課題を配布。	課題の発表時間が足りなかったので次の時間に発表していない学生は発表すること。小説課題をNAVER CAFÉに指示した日付まで載せること。(2時間)
5	前回発表していなかった学生の漫画翻訳を発表。小説翻訳に関する注意事項を講義。韓国人も知らない韓国語文規定を講義。	辞書には載っていない語彙の翻訳課題をNAVER CAFÉに載せること。(2時間)
6	小説課題をそれぞれ発表。次回、討論する論文を配布する。	期末課題に向けてどういうジャンルを翻訳するのか5つ NAVER CAFÉに載せること。論文の要約を載せること。(2時間)
7	論文の要約を発表。新聞の天声人語を配布。	課題をNAVER CAFÉに載せること。(2時間)
8	新聞のコラムに関する翻訳の講義。それぞれ新聞の天声人語を発表し、討論。	童話翻訳の課題をNAVER CAFÉに載せること。(2時間)
9	童話翻訳に関する講義。それぞれ童話翻訳のポイントを発表し、討論。	姜尚中さんのコラムを翻訳し、NAVER CAFÉに載せること。また、コメントをそれぞれつけること。(2時間)
10	コラムの翻訳に関する講義。課題を発表し、討論。	漫画翻訳とアニメーションとパンフレット翻訳をNAVER CAFÉに載せること。(2時間)
11	課題をそれぞれ発表。アニメーション、パンフレットに関する翻訳の講義。翻訳論文の配布。	翻訳に関する論文を読み要約すること。(2時間)
12	論文の要約を発表。発表できなかったアニメーションの発表。	それぞれ課題をNAVER CAFÉに載せること。コメントを書くこと。(2時間)
13	歌の翻訳、映画の翻訳の講義。それぞれ発表。	課題をNAVER CAFÉに載せること。コメントを書くこと。(2時間)

14	エッセイ翻訳の講義。課題を発表。	課題を読みNAVER CAFÉに載せること。各自コメントを書くこと。(2時間)
15	期末レポートについて説明。	今までの復習。期末課題をそれぞれ指示した日付までにNAVER CAFÉに載せてコメントを書くこと。(2時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	70
小テストなど	15
宿題など	15

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	テキスト購入は必要はありません。その都度、プリントを配ります。
参考文献等 References	번역투의 유혹 일본어가 우리말을 잡아먹었다고? 이학사 役割語研究の展開 金水 敏編 くろしお出版、우리말 알고 쓰기 경진문화사, 関連科目: 日本語語学科目全般
履修の留意点 Special Notes	毎回、課題を提出すること。日韓・韓日辞書を持参すること(電子辞書でも構いません)、欠席は必ず一両日中に連絡すること。
連絡先 Contact	yjs7437@gmail.com
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	논문 요약을 힘들다고 생각하지 마시고 논리적 사고를 키워주는 연습이니 열심히 임해주시기 바랍니다.
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	資格試験日本語 2 A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	田島 紀子	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	クラス分けテストを受け、その指示に従うこと。
科目規定 Course Description	日本語能力試験対策に特化して、文法や表現などを学習する。
授業の概要 Contents	日本語能力試験N2の得点での合格、N1の受験を目指し、N2文法の復習及びN1レベルの文法の授業を行う。受講者は毎週、自分で問題を解き、疑問点や質問事項を整理して提出しなければならない。 授業は毎回、受講者から提出された課題をもとに解説・練習等を行う。
授業の目標 Learning Goals	A: N2、N1レベルの文法・表現を理解し、適切に使うことができる。 B: 未知の文法・表現について、文脈や既知の知識に基づいて、意味を推測したり、使い方を考えたりすることができる。 C: 自らの文法知識を整理し、自律的に学習を進めることができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバス（授業計画・評価方法）の確認、レベルチェック、課題①配布	課題①の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
2	課題①解説、課題②配布	課題②の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
3	課題②解説、課題③配布	課題③の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
4	課題③解説、課題④配布	課題④の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
5	課題④解説、課題⑤配布	課題⑤の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
6	課題⑤解説	中間試験に向けて課題①～④を復習（1時間）
7	中間試験	わからなかった単語、文型を整理し確認（1時間）
8	中間試験のフィードバック、課題⑥配布	課題⑥の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
9	課題⑥解説、課題⑦配布	課題⑦の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
10	課題⑦解説、課題⑧配布	課題⑧の問題を解き、正解を確認後、疑問点や質問事項を整理しマークをつける(1時間)
11	課題⑧解説	N2総復習（1時間）
12	復習プリント①	N1総復習（1時間）
13	復習プリント②	N2・N1総復習（1時間）
14	復習プリント③	期末試験に向けて課題⑤～⑧を復習（1時間）
15	期末試験のフィードバック	わからなかった単語、文型を整理し確認（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	15
宿題など	15

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	日本語能力試験N1・N2試験に出る文法と表現（桐原書店）、他授業の中で紹介する。
履修の留意点 Special Notes	関連科目：その他の日本語科目 毎回宿題、および小テストが課される。
連絡先 Contact	メール：cloverdale1027@yahoo.co.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	実践練習（模擬試験）を取り入れます。
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	資格試験日本語 3 A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	河津 基	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	プレイスメントテストを受講し、その指示に従うこと
科目規定 Course Description	日本語能力検定試験対策に特化して、文法や表現などを学習する。
授業の概要 Contents	今学期の日本語能力試験 N 1 受験に向けて、N 2 レベルの復習と N 1 の準備を行う。受講者は毎週、与えられた課題を解き、疑問点や質問事項を整理して提出しなければならない。授業は受講者から提出された課題をもとに解説・練習等を行う。
授業の目標 Learning Goals	A: N1合格レベルの知識を身につけることができる B: 基礎的な知識を応用させて問題を読み解くことができる C: 目標をもって学習できる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション／診断テスト、課題配布（文法①）	文法①の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
2	診断テスト解説、文法①回収、課題配布（文法②）	文法②の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
3	文法①解説、文法②回収、課題配布（文法③）	文法③の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
4	文法②解説、文法③回収、課題配布（文法④）	文法④の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
5	文法③解説、文法④回収、課題配布（文法⑤）	文法⑤の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
6	文法④解説、文法⑤回収、課題配布（文法⑥）	文法⑥の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
7	文法⑤解説、文法⑥回収	中間試験に向けての準備（1時間）
8	中間試験、課題配布（文法⑦）	文法⑦の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
9	文法⑥解説、文法⑦回収、課題配布（文法⑧）	文法⑧の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
10	文法⑦解説、文法⑧回収、課題配布（文法⑨）	文法⑨の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
11	文法⑧解説、文法⑨回収、課題配布（文法⑩）	文法⑩の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
12	文法⑨解説、文法⑩回収、課題配布（まとめプリント①）	まとめ①の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
13	文法⑩解説、まとめプリント①回収、課題配布（まとめプリント②）	まとめ②の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
14	文法⑩解説、まとめプリント①回収、課題配布（まとめプリント②）	まとめ②の課題に取り組み、次の授業に備える。（1時間）
15	まとめプリント②解説、	総復習（1時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	20
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	プリント配布
参考文献等 References	授業中に指示 関連科目：自分が履修する日本語の授業
履修の留意点 Special Notes	毎回の課題に必ず取り組むこと
連絡先 Contact	電子メール kawatsu@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp オフィスアワー：火曜3限 417号室
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	漢字語彙 4②【非漢字圏】	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	藤原 一智絵	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	漢字を500字程度学習したことがある学生。 非漢字圏の留学生対象のクラスです。（漢字圏の学生が履修を希望する場合は、教員と相談し指示に従ってください。） This course is recommended for non-kanji countries students who have studied about 500 kanji.
科目規定 Course Description	漢字および語彙に特化した学習を通して、その運用能力を高めることを目的とする。 Aim to improve practical Japanese ability through focused kanji and vocabulary study
授業の概要 Contents	日本語能力試験（JLPT）2級レベルの漢字をテキストを使って学習します。漢字だけでなく、その漢字を使った語彙も多く取り入れ、漢字・語彙力の向上を目指します。また、生活の中で身の回りにある漢字・語彙を自分で調べ、発表する課題も行います。毎週、復習クイズがあり、セメスターの最後には期末試験を行います。 Students will learn Japanese Language Proficiency Test (JLPT) N2 level kanji at a pace of approximately 35 a week. This course is aimed at improving kanji and vocabulary skills with an emphasis on greatly expanding the range of vocabulary and kanji that students can use effectively. A weekly review quiz will be given in the following week as well as a final exam at the end of semester.
授業の目標 Learning Goals	A: 「日本語能力試験N2レベルの漢字語彙の意味がわかり読めるようになる」ことを目指します。 B: 「学習した漢字語彙を使った文章を読んだり書いたりできるようになる」ことを目指します。 E: 「学習した漢字の使われる文章を読み、その内容について意見交換できるようになる」ことを目指します。 A: Aim to help students master kanji at the Japanese Language Placement Test (JLPT) N2 level. B: Aim to become able to read and understand sentences with the vocabulary and kanji learned during the course. E: Develop an ability to discuss readings that use kanji covered in class

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション、レベルチェックテスト Course content summary and pretest	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
2	立て札・注意書き Notifications	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
3	復習クイズ、建物の中でよく見る表示（1） Quiz on previous week's materials Kanjis in buildings: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
4	復習クイズ、建物の中でよく見る表示（2） Quiz on previous week's materials Kanjis in buildings: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)

5	復習クイズ、駅の中でよく見る表示 Quiz on previous week's materials Kanjis in train stations: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
6	復習クイズ、乗り物でよく見る表示 /中間課題（「私の身の回りの漢字」） Quiz on previous week's materials Kanjis referring to vehicles: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading Mid-term assignment: "Kanjis for our surroundings"	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
7	復習クイズ、郵便局・病院で見る表示 Quiz on previous week's materials Post-office, hospitals kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
8	復習クイズ、自動券売機・現金自動支払機 Quiz on previous week's materials Vending machines, ATM kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
9	復習クイズ、家電・電話・携帯電話・パソコン（１） Quiz on previous week's materials Electrics, phone & computers kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
10	復習クイズ、家電・電話・携帯電話・パソコン（２） Quiz on previous week's materials Electrics, phone & computers kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
11	復習クイズ、料金通知・払込用紙・不在通知 Quiz on previous week's materials Bills and delivery related notices kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
12	復習クイズ、ポイントカード・商品券・クリーニング Quiz on previous week's materials Point cards, cleaning kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
13	復習クイズ、ゴミの分別 Quiz on previous week's materials Garbage separation kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	次回扱う内容についての予習（漢字・語彙）（1時間） Review this week's kanji and prepare for next week(1 hour)
14	復習クイズ、いろいろな通知 Quiz on previous week's materials Notifications kanji: reading and meaning, organizing kanji in same category and/or with same reading	試験準備（漢字・語彙）（1時間） Review all materials (1 hour)
15	まとめ Sum-up	復習（１時間） Review all materials (1 hour)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	40
期末レポートなど	
小テストなど	30
宿題など	10

48

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	『日本語能力試験対策 日本語総まとめ N2漢字』アスク
参考文献等 References	必要に応じて適宜紹介します。 関連科目：日本語4 Provided as necessary Related courses: Japanese 4
履修の留意点 Special Notes	この授業は非漢字圏出身学生を対象です。漢字IV②と同じ学習内容を扱います。漢字圏出身学生が履修する場合は、第1回授業のオリエンテーション時に教員と相談し、指示に従っててください。 30分以上の遅刻または早退は、欠席として扱います。また、遅刻3回で欠席1回として扱います。授業に欠席した場合、漢字クイズの再テストは行いません（0点の扱いです）。 漢字は授業だけでなく自学自習が大切です。予習・復習ができない学生の履修は歓迎しません。 This course is prepared for students from non-kanji backgrounds. If you are from a kanji background, please understand in advance that the pace of the class may be adjusted to accommodate other students and take this into consideration when registering. More details will be informed at the orientation in the first class. As kanji requires self-study as well as class attendance, students must preview and reviews
連絡先 Contact	ichie65@ori.bbiq.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	ビジネス日本語A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語5以上にプレイスされた、中級レベル以上の日本語力を持っていること。
科目規定 Course Description	日本のビジネスやマーケティングを多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。
授業の概要 Contents	【日本語で学ぶ行動経済学入門】 ビジネスにおける日本語の運用に特化し、日本語能力の向上を目的とする。 すでに身につけている日本語運用能力をフルに活かし、日本語でビジネス・経済・マーケティングに関する洞察力を磨きます。 本授業では、グループワークによる発表ならびに全体討議の形式をとり、総合的かつ実践的な日本語能力を磨きます。
授業の目標 Learning Goals	A: 「扱うケースに関連するビジネス上の知識や文化を理解できるようになる」ことを目指します。 B: 「扱うケースに関する課題を適確に把握したり、その解決方法として適切な方法を考えることができるようになる」ことを目指します。 E: 「ケースの読解やディスカッションを行うことを通して、高度なコミュニケーションができるようになると同時に、ビジネス場面で必要とされるコミュニケーションとはどういうことか理解できるようになる」ことを目指します。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	オリエンテーション時配布資料の熟読（1時間）
2	発表デモンストレーション、グループ決め	次回範囲の予習（1時間）
3	第1章「行動経済学ってなんだ？」（1）	授業のふりかえり（1時間）
4	第1章「行動経済学ってなんだ？」（2）	次回範囲の予習（1時間）
5	第2章「人間の本質をとらえる」（1）	授業のふりかえり（1時間）
6	第2章「人間の本質をとらえる」（2）	次回範囲の予習（1時間）
7	第3章「直感ばかりにできない」（1）	授業のふりかえり（1時間）
8	第3章「直感ばかりにできない」（2）	次回範囲の予習（1時間）
9	第5章「その思い込み、大丈夫？」（1）	授業のふりかえり（1時間）
10	第5章「その思い込み、大丈夫？」（2）	次回範囲の予習（1時間）
11	第6章「時間とお金の不思議な関係」（1）	授業のふりかえり（1時間）
12	第6章「時間とお金の不思議な関係」（2）	次回範囲の予習（1時間）
13	第8章「こんなに役立つ行動経済学」（1）	授業のふりかえり（1時間）
14	第8章「こんなに役立つ行動経済学」（2）	授業のふりかえり（1時間）
15	第8章「こんなに役立つ行動経済学」（3）	期末課題作成（1時間）

教科書 Textbooks : Materials	真壁昭夫（2011）『最新 行動経済学入門―「心」で読み解く景気とビジネス―』、朝日新聞出版、700円＋税
---------------------------------	---

参考文献等 References	「DIAMOND ハーバード・ビジネス・レビュー」2015年7月号、ダイヤモンド社		
評価方法 Grading Policy	配分(%)	評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	40	プレゼンテーションなど	20
Special Notes	本授業のメインは全体討議です。積極的な発言が求められます。ただ黙っているだけでは、評価は下がります。	授業時態度など	20
連絡先	小テスト研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限	授業への参加度など	20
Contact	宿題などメールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp	その他	
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course			
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)			

科目名 Course title	講座日本事情 1 A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	日本語 4・5 クラス
科目規定 Course Description	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。
授業の概要 Contents	「生活」と「地理」と「社会」の三つの観点から文化理解を目指す。 日本人・社会について最終的に結論を出すのではなく、文化の多様性・個性に対する「気づき」をもつ。
授業の目標 Learning Goals	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目指す。 A: 独自の異文化理解の観点を説明できる B: 日本文化と自文化の異同を説明できる C: 日本文化の現状を理解する

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	本授業科目の概要、成績評価法、グループワークとプレゼンテーションなどについて説明	次週の予習(スポーツと体育の違い)(4時間)
2	体育とスポーツの違い、部活動や武道における教育を考察	次週の小テストの復習(武道の歴史や初中等教育での部活動の状況など)、次週の予習(日本の宅配会社の特徴) (4時間)
3	各宅配会社が行っているサービスと特徴を考察	次週の小テストの復習(各宅配会社の利点と郵便局など)、次週の予習(買い物の支払の手段と特徴) (4時間)
4	日本のマニュアル社会とサービスを考察	次週の小テストの復習(マニュアル通りのサービスの利点と欠点など)、次週の予習(日本でのストレス発散の仕方) (4時間)
5	普遍文化としての音楽、簡易な娯楽に熱中する現代日本人を考察	次週の小テストの復習(日本の伝統音楽、劇、ギャンブルなど)、次週の予習(日本の交通手段) (4時間)
6	新幹線などからみる日本社会の時間遵守精神を考察	次週の小テストの復習(各交通機関の特徴など)、次週の予習(プレゼンテーションの中間報告) (4時間)
7	プレゼンテーションへのフィードバック	プレゼンテーションの反省、次週の予習(自分が旅行したい都道府県について調べる) (4時間)
8	各都道府県の気候や風土、主要都市の特徴を考察	次週の小テストの復習(テーマ別でみる日本の都道府県と気候など)、次週の予習(都道府県の有名な特産物について調べる) (4時間)
9	地域別の特産物と旬、主食の米と日本人の「食」の変化を考察	次週の小テストの復習(地域別の食物の出荷量と食料自給率など)、次週の予習(日本の風習や祭事について調べる) (4時間)
10	日本の宗教的儀礼と社会的儀礼を考察	次週の小テストの復習(日本の宗教的儀礼、社会的儀礼、通過儀礼など)、次週の予習(和服とはこういったものがあるか調べる) (4時間)
11	年代別でみる日本人の服装の変化と社会の変化を考察	次週の小テストの復習(着物、和服、日本の現代ファッションなど)、次週の予習(日本での住まいと母国の住まいの違いについて考察する) (4時間)

12	日本の住宅構造と気候との関係を考察	次週の小テストの復習(各地方の住宅の特徴、伝統的な日本家屋など)、次週の予習(日本の教育制度と自分の国の教育制度の比較) (4時間)
----	-------------------	--

13	日本の初中等教育と学校行事を考察	次週の小テストの復習(日本の教育制度の問題点、学外活動など)、次週の予習(日本社会にどうすれば順応できるか考察する)
14	日本社会への順応、多文化共生を考察	次週の小テストの復習(ハーグ条約や外国人技能実習制度の問題点など)、次週の予習(プレゼンテーションの準備)
15	プレゼンテーションの発表とフィードバック	プレゼンテーションの反省とレポートの作成

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	
期末レポートなど	30
小テストなど	20
宿題など	10

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	10
授業時態度など	10
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	オリジナルプリント(配布)
参考文献等 References	適宜紹介する
履修の留意点 Special Notes	受講予定者はオリエンテーション(第1回目)から出席すること。 授業開始時に前回の内容について確認するための小テストを実施する。
連絡先 Contact	研究室: 417 オフィスアワー: 月曜日3限 メールアドレス: otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	講座日本事情 2 A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	300
担当教員 Instructor(s)	大谷 鉄平	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○	○		

履修要件 Prerequisites	日本語5・6クラス
科目規定 Course Description	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目的とする。
授業の概要 Contents	日本に暮らす複数の外国人が語った「自国と日本との違い」「日本人像」に関する文章を通じ、比較文化的感性を養うとともに、「日本人とは何か」について考察する。本授業では、グループワークによる発表ならびに全体討議の形式で、総合的かつ実践的な日本語能力を磨く。
授業の目標 Learning Goals	日本の文化や社会を多面的に捉え、その理解を促進するとともに、日本語能力の向上も目指す。 A: 独自の異文化理解の観点を述べられる B: 日本文化と自文化について異同が述べられる C: 日本文化と現状について理解する

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション	授業方針の提示、教材に関する内容の予習（4時間）
2	発表デモンストレーション グループ決め	「近未来の自転車ライダー？」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
3	「日本のここに驚いた！」（1）発表と全体討議	「「しょうがない」と「がんばる」が共存する」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
4	「日本のここに驚いた！」（2）発表と全体討議	「大変な病氣なのに働いている？」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
5	「日本のここに驚いた！」（3）発表と全体討議	「私は他の惑星から来た宇宙人？」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
6	「日本人と結婚して」（1）発表と全体討議	「カッとするのはエネルギーの無駄遣い」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
7	「日本人と結婚して」（2）発表と全体討議	「母は私を日本人だと思っています」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
8	「日本に来て変わっていく私」（1）発表と全体討議	「疎外感を感じたこともあったけれど」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
9	「日本に来て変わっていく私」（2）発表と全体討議	「お互いの国の関係はギクシャクしても」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
10	「日本に来て変わっていく私」（3）発表と全体討議	「大学生が質問をしてこないのには困った」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
11	「日本の教育について、ひと言」（1）発表と全体討議	「日本の先生は忙しい」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
12	「日本の教育について、ひと言」（2）発表と全体討議	「日本人はウソつき？」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
13	「日本のみなさん、聞いてください」（1）発表と全体討議	「兄妹が手をつないでもヤキモチをやかないで」を題材としたグループ発表の準備（4時間）
14	「日本のみなさん、聞いてください」（2）発表と全体討議	「日本の女性について思う、いくつかのこと」を題材としたグループ発表の準備（4時間）

15	「日本のみなさん、聞いてください」（3）発表と全体 討議	期末課題作成（4時間）
----	---------------------------------	-------------

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	40
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	20
授業時態度など	20
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	加藤恭子編（2015）『日本人のここがカッコイイ！』文藝春秋、780円＋税
参考文献等 References	適宜紹介する
履修の留意点 Special Notes	授業時に日本語を間違えてしまうことは、恥ずかしくありません。 積極的に、日本語で、思ったことを発言することが求められます。 ただ黙っているだけでは、評価は下がります。
連絡先 Contact	研究室：417 オフィスアワー：月曜日3限 メールアドレス：otani@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	アクティブ日本事情A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	宮崎 聖乃	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	○		◎	

履修要件 Prerequisites	日本語 3 以上にプレイスされた学生が望ましい This course is recommended for students who study in Japanese 3 or over.
科目規定 Course Description	学内外におけるアクティビティを通じて、応用的な日本語能力の取得と目的とする。 Students will gain applied Japanese ability through in and out of school activities.
授業の概要 Contents	「大学生生活」「身近な社会」「日本社会における多様性」について、クラス内でのディスカッション、日本人学生とのディスカッションやアクティビティ（ビジターセッション）、学外からゲストスピーカーを招いてのディスカッション（ヒューマンライブラリー）、見学、ポスター発表などを行う。これらの授業を通して、実践的な日本能力を身につけるとともに、日本の社会や文化について理解を深め、さらに自文化を見つめ直す機会となることを期待する。2回のポスター発表を予定しており、うち1回（学期最終週）は自分で選んだテーマについてのポスター発表を行う。 The course has 3 main themes, "University-The closest Japanese society for students", "Japanese technology and service", and "Minorities in Japanese society". Students will acquire authentic Japanese ability, deepen their understanding of Japanese society and culture, through discussion about the 3 themes, discussion with Japanese students, activity (Visitor Session), discussion with a guest from outside, field trip, presentation about a self-made poster. Hopefully, this course can be an opportunity for students to get inspired to reflect on their own culture. There will be twice poster presentations. One of the presentation themes will be student's own choice (this presentation will be held in the last week)
授業の目標 Learning Goals	A: 日本の文化や社会に対する理解と関心を深める。異文化について学ぶことで自文化に対して客観的に見ることができるようになる。 B: 効果的な情報収集の方法や発表について検討し実践することができる。 D: 多様な日本語話者と日本語によるコミュニケーションを行うことで、実践的な日本語コミュニケーション力を身につけ協力的なコミュニケーションができるようになる。 A: Deepen the understanding and interest of Japanese culture and society. Be able to have a new perspective of student's own culture through learning different culture. B: Be able to consider and practice effective ways of collecting information. D: Be able to acquire authentic, cooperative communication skills in Japanese, through communication with multiple native Japanese speakers

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション（ビジターセッション、ポスター発表、見学、ヒューマンライブラリーについて） Orientation (Visitor session, poster presentation, field trip, human library)	ビジターセッションの準備（4時間） Preparation for Visitor Session (4 hrs)
2	「大学生生活」についてビジターセッション Visitor Session: "University-The closest Japanese society for students"	振り返り・フィードバック（FB）シートの記入（4時間） Feedback / Fill out a feedback sheet (4 hrs)
3	ビジターセッションのフィードバック／見学の準備 Feedback from Visitor Session, preparation for the field trip	予習シート記入（4時間） Fill out a preparation sheet(4hrs)
4	見学（場所未定、学外活動のため土曜日に実施） Field trip ※This class will be held on Saturday, November 7 as an out-of-school activity	見学の準備／感想のまとめ／まとめシート記入（4時間） Preparation for the field trip / put remarks together / fill out a remark sheet (4hrs)
5	見学のフィードバック／ポスター発表（「大学生生活」または「日本で見たもの」）の準備 （ブレインストーミングから構成まで） Feedback from the field trip / Preparation for poster making about theme① or theme② (brainstorming / KJ method)	ポスター発表準備（4時間） Preparation for the poster presentation (4hrs)
6	ポスター発表準備（ディスカッション／ポスター作成） Preparation for the poster presentation (discussion / make a poster)	ポスター発表準備（4時間） Preparation for the poster presentation (4hrs)
7	ポスター発表 Poster presentation	振り返り・FBシートの記入（4時間） Feedback / Fill out a feedback sheet (4 hrs)
8	ポスター発表のフィードバック／「日本社会における多様性」についてのディスカッション Feedback from the poster presentation / Theme③ " Minorities in Japanese society"	発表振り返り・ワークシートの記入（4時間） Presentation feedback, Fill out a preparation sheet (4hrs)
9	学外からゲストスピーカーを招いての小グループによるディスカッション （ヒューマンライブラリー） Group discussion with a guest from outside in small groups (human library)	振り返り・FBシートの記入／感想のまとめ（4時間） Feedback / Fill out a feedback sheet / put remarks together (4 hrs)
10	ディスカッションのフィードバック／各自のテーマによるポスター発表の準備 Feedback from the group discussion /Preparation for a self-chosen-theme poster presentation (brainstorming / KJ method)	各自のテーマによるポスター発表準備（4時間） Preparation for a self-chosen-theme poster presentation (4hrs)
11	各自のテーマによるポスター発表の準備（ポスター作成） Preparation for a self-chosen-theme poster presentation (make a poster)	各自のテーマによるポスター発表準備（4時間） Preparation for a self-chosen-theme poster presentation (4hrs)
12	各自のテーマによるポスター発表の準備（ポスター作成） Preparation for a self-chosen-theme poster presentation (make a poster)	各自のテーマによるポスター発表準備（4時間） Preparation for a self-chosen-theme poster presentation (4hrs)
13	各自のテーマによるポスター発表の準備（ポスター作成） Preparation for a self-chosen-theme poster presentation (make a poster)	ポスター発表準備／練習（4時間） 各自のテーマによるポスター発表準備（4時間） Preparation/practice for a self-chosen-theme poster presentation (4hrs)
14	各自のテーマによるポスター発表 Self-chosen-theme poster presentation	振り返り・FBシートの記入（4時間） Feedback / Fill out a feedback sheet (4 hrs)
15	振り返り Sum-up	学期の振り返り・FBシートの記入（4時間） Semester feedback / Fill out a feedback sheet (4 hrs)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	60
授業時態度など	
授業への参加度など	40
その他	

教科書 Textbooks : Materials	なし N/A
参考文献等 References	授業内で紹介 関連科目：その他の日本語科目 Introduced in class Related courses: Other Japanese courses
履修の留意点 Special Notes	受講生は20名程度を予定しており、受講希望者多数の場合は抽選となることもある。 第4回見学場所は受講生と相談の上決定する予定。 見学の交通費は自己負担とする。 Please note that this class is intended for about 20 students. If there are too many applicants, students may be chosen by lottery. On the field trip in class 5, students must pay for the transportation fee (about 300 yen) by themselves.
連絡先 Contact	研究室：331 オフィスアワー： 木曜4限（この時間以外はアポにて対応） メール： miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp Office Number: 331 Office Hour: Thursday 4th period (Other hours available with an appointment) E-mail Address: miyazaki@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本の文化A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	宮崎 賢太郎	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	なし
科目規定 Course Description	日本の文化を多面的にから紹介し、現在の日本を構成する様々なシステムの文化的背景の理解を目的とする。
授業の概要 Contents	日本には、さまざまな「〇〇道」と呼ばれる日本文化を代表する芸道がある。それらの道は日本人がより豊かで、より深い生き方を求めて探求し続けてきた集大成であり、現代日本社会においてもいまだに日本人の文化、伝統の中核を形成しているといっても過言ではない。それらは室町時代の東山文化に発し、中国より伝来した禅宗の影響が大きい。日中の文化比較も試みてみよう。視聴覚資料を通して日本文化を体感する。
授業の目標 Learning Goals	A: 東山文化を中心とした日本文化の具体的な諸相を知り、自国の文化とのかかわりが理解できるようになる B: 日本文化の形成になぜ禅宗が深くかかわっているのかが理解できるようになる E 日本文化の特性について、自分の言葉（日本語）で語れるようになる

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスを説明し、授業の概要、授業の目標、成績評価、試験実施方法などについて相互確認する。日本文化の形成とその特性について。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してすること。
2	日本文化の原型 北山文化と東山文化について。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してすること。「わび」「さび」とは何か、調べてすること。
3	侘びと寂について。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してすること
4	日本の庭園・建築の特徴について。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してこと。禅とはなにかについて簡単に調べてすること。
5	禅とは何かその歴史と日本文化への影響について。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してこと。茶道について基本的なことを調べてすること。
6	日本文化を代表する茶道の歴史とその精神について。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してすること。
7	茶道の実践。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してこと。能楽について調べてくる。
8	能楽とは何か一幽玄の美について	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してこと。世阿弥について調べてくる。
9	世阿弥『風姿花伝』から学ぶ日本文化の精髓。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してこと。俳句について基本的なことを調べてくる。
10	俳句の精神についてー簡素化の美 松尾芭蕉の生涯と思想	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してこと。自分で俳句を2首作り、2週後の授業時に提出すること。
11	禅と武士道ー生と死の文化。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書してこと。

12	視聴覚資料を通して日本の武道文化とその精神を知る。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書して ること。武士道について調べてること。
13	宮本武蔵「五輪書」における武士道精神と禅思想との関係について	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書して るよう指示した。
14	日本刀にみる日本人の美意識 視聴覚資料を通して、その芸術性について体感する。	次回までに今回の授業の内容を整理し、ノートに清書して ること。
15	全体のまとめとして、禅思想が日本文化の根底に普遍的に流れていることを確認する。	これまでの授業の内容を整理し、まとめてノートを提出さ せる。

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	10
宿題など	20

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	なし
参考文献等 References	授業中に資料を配布する 関連科目：日本の社会B/A
履修の留意点 Special Notes	6回（6回を含む）以上欠席すると受験資格なし 授業中のスマホ使用厳禁 受講人数によっては座席指定とする
連絡先 Contact	giovken@sea.plala.or.jpのアドレスに連絡すること。
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本の文学A（日本文学研究入門Ⅱ）	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	常吉 幸子	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力

履修要件 Prerequisites	日本語がだいたい理解できること。日本語で表現されている内容について、感想・意見を述べることができ、わからないことは質問し、説明を求めるなど、教師とコミュニケーションできること。
科目規定 Course Description	
授業の概要 Contents	日本の近代化と国語の革新を、韻文-日本の短詩形文学の名作を読み味わいつつ具体的かつ深く理解していきたい。日本の短詩形文学は、半世紀も前桑原武夫によって「第二芸術」などと称された。それにたいする有効な反論はあまりないようである。しかし一方で、この分野は参加する素人作者の人口も多い。いわばもっとも参加しやすい日本文学、といえるだろう。やさしい表現の作品も多い。留学生のみならずには、その言葉の味わいやニュアンスを読み取るとともに、「実作」に挑戦してほしい。気負わずに。
授業の目標 Learning Goals	日本の明治維新以降の短詩形文学に触れることで、日本語のニュアンスや表現の一端に触れ、それぞれの受講生の日本語における表現力をゆたかにしていってほしい。実作を楽しめるところにみなさんを連れて行くことを目標とします。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	近代日本語の成立の物語。写生文と「写生」の短歌・俳句について考える。とくに、正岡子規の改革運動と、『墨汁一滴』所収の「藤の花ふさ」の連作を読み込みたい。	一つでよいので、子規の連作を真似て、短歌を作って、提出すること。（復習）二時間 また、次回分の与謝野晶子の詩と短歌のプリントを配布。わからないことばは調べて、感想を言えるようにしておく。（予習）二時間
2	与謝野晶子の『みだれ髪』から短歌を数首。また、有名な「君死にたまふことなかれ」を当時の歴史的状況とてらしあわせて理解する。「浪漫主義」について、欧州でのそれとあわせて日本の特色を考える。	一つでよいので、短歌をつくって提出する。（復習）二時間 また、次回分の石川啄木『一握の砂』の短歌を、わからないことばは調べて、感想を言えるようにしておく。（予習）二時間
3	石川啄木の『一握の砂』を中心に、作品を読み味わう。	石川啄木の短歌を参考に、短歌をつくって提出する。（復習）二時間 また、次回分の若山牧水の作品をプリントで配布するので、感想をいえるようにしておく。（復習）二時間
4	若山牧水の、とくに著名な歌をいくつか読み味わいたい。文学としての「評語」もいくつか覚え、使えるようになってほしい。	若山牧水の歌を参考に、いくつか短歌をつくって提出する。（復習）二時間 高村光太郎の『智恵子抄』からいくつかの詩をプリントとして配布する。長いものではないので調べて読み、感想をいえるようにしておく。（予習）二時間
5	高村光太郎の『智恵子抄』をよみ、芸術家同士の夫妻であることの意味を考える。希有な純愛詩として読み味わいたい。	短歌でよいので、『智恵子抄』に触発されたものを創って提出する。（復習）二時間 また、次回、中原中也の詩をプリントとして配布するので、調べて読み、感想をいえるようにしておく。（予習）二時間
6	中原中也の詩「汚れちまった悲しみに」などをじっくり読み込み、近代的な感性について考える。	短歌でよいので、中原中也的虚無感などを、表現してみよう。（復習） また、回りの俵万智『サラダ記念日』より抜粋したいくつかの短歌を、調べて読み感想をいえるようにしておく。（予習）

7	俵万智『サラダ記念日』よりの短歌を、読み味わい、その新しさを理解する。	俵万智を参考に、さりげない日常や、恋の歌を作ってみよう。（復習）二時間 また、次回「旅」をテーマにした詩歌を学ぶ。今までに学んだお馴染みの歌人の作もある。調べて読み、感想をいえるようにしておこう。（予習）二時間
8	「旅」の歌を、いくつか読み味わう。旅ってどんな意味があるのだろうか。	「旅」をテーマにした短歌をつくってみよう。（復習）二時間 また、次回の「酒と柿」をテーマにした作品のプリントを配布するので、調べて読み、感想をいえるようにしておく。（予習）二時間
9	「酒」はみなさん学生にはふさわしくないかも。しかし珈琲や紅茶、果物などの味わいや季節感、その日常性とともに詩歌のテーマになってきました。	嗜好品や食品の味わい、イメージの広がりをテーマにした短歌をつくってみましょう。（復習）二時間 また、次回の「死」をテーマにした詩歌をプリントとして配布するので、調べて読み、感想をいえるようにしておきましょう。（予習）二時間
10	「死」は非日常的なものだが、人生の最後に訪れる「死」ばかりでなく、私たちは「死」と無縁ではありえない。いくつかの作品を媒介に考えてみよう。	「死」をテーマにした、短歌をつくってみましょう。（復習）二時間 また、「桜」という日本文化の重要なアイコンでもある花を題材にした詩歌をプリントとして配布するので、調べて読み、感想をいえるようにしておきましょう。（予習）二時間
11	「桜」についての日本の伝統と、その意味を考えつついくつかの作品を読み味わう。古代から近代にわたる。	「桜」やその他の文化的に象徴とされる「薔薇」その他の花をテーマに、短歌をつくってみましょう。（復習）二時間 現代短歌には「原子力発電所は首都の中心におけ」などという「剛速球」的作品がある。プリントを配布するので、調べて読み、感想をいえるように。（予習）二時間
12	時事問題を扱ったり、あまりにも強烈に主張する短歌がある。そういうものが好きかどうか、これは「詩」といえるのか、考えていきたい。	あなたが主張したいことを強烈に主張するような短歌をつくってみましょう。（復習）二時間 とびきり変な「オノマトペ」を使う現代短歌を紹介するプリントを配布する。調べて読み、感想をいえるように。（予習）二時間
13	日本語の「オノマトペ」は興味深い、短詩形文学においてはとくに奇妙で強烈なオノマトペの使用を究めようとするような作品がある。見てみよう。	ありふれた一般的なものでも、奇妙で独自なものでもいいのでオノマトペを使って、その語感を楽しむ短歌をつくってみよう。（復習）二時間 また、短歌における5W1Hについて考える種村氏の文章をプリントにして配布する。よく読んで考えてきてほしい。（予習）二時間
14	種村弘氏の個性的な所論に従って、短歌の5W1Hについて考えてみたい。短歌は短詩形。すべてを語るの無理。読み手はどのように補って理解するのだろうか。	いつ・どこで・なにを・なぜ・どのように・だれがといったことを、意図的に欠落させた歌を作ってみよう。むずかしいね。（復習）二時間 「ロッカーを蹴るなら人の顔を蹴れ」え？そういうとんでもないことを詠む歌がある。考えて、感想をいえるように。（予習）二時間
15	とんでもない常識外れの短歌がある。でも、がんらい「文学的」とであるというのはそういうことかもしれない。考えてみよう。単位レポート指導も。	単位レポートは、「短歌の魅力」をテーマとする。それぞれ気に入った近現代の短歌作品を一つ以上取り上げて、2000字程度でまとめて提出すること。四時間以上。

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	50
小テストなど	50
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	主としてプリントをつくって配布する。受講生がとくに興味を引かれた作家等については、読むべき本を推薦することがある。
参考文献等 References	適宜、推薦する。 とくに、第12回以降は種村弘氏の『短歌という爆弾—今すぐ歌人になりたいあなたのために—』(小学館 2013年11月刊)に依拠している。
履修の留意点 Special Notes	第十五回のように、レポート提出に関わる回には、とくに気をつけて欠席しないこと。また、配点が大きいのので毎回課する短歌の創作は必ず提出すること。
連絡先 Contact	メールアドレス tzune@icloud.com 毎週木曜日の4限は、本館4階講師室にいますので、質問等があれば来てください。 また、学生支援課の窓口を通して、連絡を取ってもらうこともできます。
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	新規。
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本の社会A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	石川 昭仁	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語の理解能力のある学生を対象とする。
科目規定 Course Description	日本社会における様々なシステムを紹介し、現在の日本についての理解を促進する。
授業の概要 Contents	外国人として現代日本社会と日本人のものの見方・考え方をより良く理解するために、戦後の日本の発展と諸課題を概観し、またライフサイクルごとにその時々で直面する人生の諸問題についての日本人の考え方を紹介し、日本人理解を深める。
授業の目標 Learning Goals	A: 戦後日本の経済成長について基礎知識を獲得し、生活の変化について説明することができる。 B: 現代日本社会が直面する諸問題について、その概要を説明することができる。 E: 比較社会・文化的な視点から、日本人のライフサイクルにおける価値選択について自分の意見を発表することができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	戦後日本の歩みを概観する	配布資料の予習と単語リストの作成（4時間）
2	戦後の経済成長と国民生活の変化（1）	配布資料の予習と単語リストの作成（4時間）
3	戦後の経済成長と国民生活の変化（2）	配布資料の予習と単語リストの作成（4時間）
4	戦後の経済成長と国民生活の変化（3）	配布資料の予習と単語リストの作成（4時間）
5	戦後の経済成長と国民生活の変化（4）	配布資料の予習と単語リストの作成（4時間）
6	日本人の意識・40年の軌跡（基本的価値：生活目標、生活充実手段、権威と平等、理想の人間像）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
7	日本人の意識・40年の軌跡（消費、貯蓄、人間関係、理想の仕事）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
8	日本人の意識・40年の軌跡（仕事と余暇、信仰と宗教）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
9	日本人の意識・40年の軌跡（理想の家庭、夫婦関係、老後のあり方）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
10	日本人の意識・40年の軌跡（男女教育、性意識、結婚観）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
11	日本人の意識・40年の軌跡（コミュニケーション行動）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
12	日本人の意識・40年の軌跡（政治課題、天皇に関する感情等）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
13	日本人の意識・40年の軌跡（国際関係、外国人との交流経験）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
14	日本人の意識・40年の軌跡（生活満足度、ライフステージ、学歴）	「日本人の意識」調査（NHK）の該当箇所の予習（4時間）
15	日本人の意識・40年の軌跡（まとめ）	まとめの発表準備（4時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	70
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	10
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	資料を授業中に配布する
参考文献等 References	授業中に指示する
履修の留意点 Special Notes	特になし
連絡先 Contact	場所： 315 オフィスアワー（及び時間帯）： メールアドレス： ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	長崎と世界A	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	200
担当教員 Instructor(s)	本田 貞勝	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本語で論理的な文章を書く能力がある短期留学生が対象。 長崎の歴史に興味を持ち、向学心のある者。
科目規定 Course Description	日本の中でも古くから海外との交流を深めてきた長崎の文化についての理解を目的とする。
授業の概要 Contents	長崎の歴史、文化をジャーナリストの視点と切り口で解説し、現代社会との関連、世界との関連を学ぶ
授業の目標 Learning Goals	A: 自国に戻ってから長崎の歴史を発表できるよう知識を身につける。 B: 現代社会の動きに関心をもち、国際社会に通用する人間力の向上に資する。 E: できるだけバランスのとれた思考ができるよう努める。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション。授業の概要説明。 授業への期待や要望を聞き、質疑応答する	日頃のニュースに関心を持つこと。 長崎の歴史に興味を持ち、視野は世界へ向ける。(4時間)
2	長崎くんち開幕へ。くんちの歴史を振り返る。	3日間の祭りを体験すること。(4時間)
3	時事問題。くんちの感想。「長崎は名が先か」	九州の中で長崎の位置づけを考えておくこと。(4時間)
4	世界にとどろく宗教都市としての側面	遣欧天正少年使節について調べておくこと。(4時間)
5	江戸時代、長崎は最先端都市であった。	長崎シュガーロードを調べておくこと。(4時間)
6	被爆都市としての側面。	長崎空襲の歴史を調べておくこと。(4時間)
7	長崎の姉妹都市、友好都市の解説。	セントポール市の予習。(4時間)
8	長崎奉行物語	「長崎奉行物語」を読んでおくこと。(4時間)
9	文化財の価値がある長崎奉行墓碑群	長崎の墓の特徴を考えておくこと。(4時間)
10	長崎事始め	シュガーロードを調べておくこと。(4時間)
11	時事問題。 長崎に集った人々・日本人編。	福沢諭吉を調べておくこと。(4時間)
12	長崎にきた外国人	トーマス・グラバーの業績を調べておくこと。(4時間)
13	時事問題。今年はどうな年になるか。 長崎平和宣言の推移。	原爆について調べておくように。(4時間)
14	活発な長崎の平和市民活動。	「微力だが、無力じゃない」の意味を考えておくこと。(4時間)
15	学生討論。平和への貢献。	授業の自己総括。(4時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験(中間・期末)	80
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	10
授業時態度など	10
授業への参加度など	
その他	

教科書 Textbooks : Materials	特になし。毎日の新聞、テレビ、ネット情報を教材とする。
参考文献等 References	「長崎奉行物語」「龍馬の長崎」「コラム長崎散歩」（いずれも本田貞勝著、本学図書館所蔵） 関連科目：長崎文化論I/II
履修の留意点 Special Notes	現代社会に関心を持ち、生きた教育を目指す。
連絡先 Contact	メールアドレス：sadakatsu@ark.ocn.ne.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	特になし
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	日本のビジネスA	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	庵谷 治男	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
◎	○			○

履修要件 Prerequisites	日本のビジネスに関心があり、積極的に授業へ参加する意欲があること。
科目規定 Course Description	日本におけるビジネスのあり方やビジネスモデルを学びながら、その特徴を理解することを目的とする。
授業の概要 Contents	日本企業が提供する製品とサービスについて、代表的な事例を学習しながらビジネスの仕組みについて理解する。授業の方法は、PPTによる説明だけでなくDVD観賞なども通じて効果的な学習を目指す。また、グループワークを複数回実施することで議論を発展させる。
授業の目標 Learning Goals	A: 日本企業が提供する製品とサービスについて、ビジネスの仕組みを理解することができる。 B: 日本企業の国際化に関する現状と課題について思考することができる。 E: 日本企業の利益管理や問題点についてグループワークを行い、コミュニケーション力を磨くことができる。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	シラバスの説明、日本のビジネス（ものづくりとサービスの面）の概要	日本のものづくりとサービスについて復習（4時間）
2	利益管理、CVP分析、変動費、固定費、損益分岐点分析、利益図表①・②	CVP分析（利益図表①・②）の復習（4時間）
3	CVP分析の活用、利益目標の計算、損益分岐点の引き下げ	CVP分析の活用、損益分岐点の復習（4時間）
4	CVP分析を用いたグループワーク	グループ発表の準備（4時間）
5	CVP分析を用いたグループ発表	CVP分析活用の復習（4時間）
6	日本のものづくり、サプライチェーンマネジメント、PB商品について	サプライチェーンマネジメント、PB商品の復習（4時間）
7	日本のものづくり、パナソニックの事業部制組織	事業部制組織の復習（4時間）
8	日本のものづくり、京セラのアメーバ経営	アメーバ経営の復習（4時間）
9	サービスの提供、サービスの定義、日本のサービスの事例	サービスの定義、事例の復習（4時間）
10	サービス・プロフィット・チェーン、従業員満足、顧客満足、旅館の事例	サービス・プロフィット・チェーン、従業員満足の復習（4時間）
11	日本のサービスの再生、テーマパークの事例	企業再生の復習（4時間）
12	日本のサービスを海外へ、海外進出の事例	サービスの海外進出の復習（4時間）
13	日本企業の国際化、M&A、日本企業の海外進出、アパレル企業の事例	M&A、日本企業の海外進出の復習（4時間）
14	アパレル企業の事例に基づくグループワーク、ディベート形式の発表	日本企業の海外進出の復習（4時間）
15	授業の総括、期末試験の説明	授業全体で学習した内容の復習（4時間）

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	60
期末レポートなど	
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	30
授業時態度など	
授業への参加度など	10
その他	

教科書 Textbooks : Materials	とくになし（ハンドアウトを配付予定）
参考文献等 References	加護野忠雄・吉村典久編（2006）『1からの経営学』碩学舎。 伊藤宗彦・高室裕史編（2010）『1からのサービス経営』碩学舎。 関連科目：ビジネス日本語 B/A
履修の留意点 Special Notes	とくになし
連絡先 Contact	otanih@nagasaki-u.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	自由課題研究A③	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	小鳥居 伸介	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	◎	○		

履修要件 Prerequisites	授業では頻繁に質疑応答を行いますので、それに対応できる日本語能力が求められます。
科目規定 Course Description	学生個々人が自ら探求したいと思うテーマについてレポートを作成する。
授業の概要 Contents	各自でテーマを決め、発表と討論を行います。
授業の目標 Learning Goals	A/B: 大学で学ぶ上での問題意識を持ち、それを深める。 C: 日本語による発表と討論の練習。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の概要の説明。 授業の進め方についての説明。	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
2	発表と討論 (1)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
3	発表と討論 (2)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
4	発表と討論 (3)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
5	発表と討論 (4)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
6	発表と討論 (5)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
7	発表と討論 (6)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
8	発表と討論 (7)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
9	発表と討論 (8)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
10	発表と討論 (9)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
11	発表と討論 (10)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
12	発表と討論 (11)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
13	発表と討論 (12)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
14	発表と討論 (13)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
15	発表と討論 (14)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	70
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	30
その他	

教科書 Textbooks : Materials	各自で準備。
参考文献等 References	各自で準備。
履修の留意点 Special Notes	積極的に授業に参加してください。
連絡先 Contact	授業外での相談は研究室（322）で受け付けます。 オフィスアワー：水曜日3時限目 メールでの相談も可能です。 kotorii@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	自由課題研究A②	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	野田 雄史	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	◎	○		

履修要件 Prerequisites	授業では頻繁に質疑応答を行いますので、それに対応できる日本語能力が求められます。
科目規定 Course Description	学生個々人が自ら探求したいと思うテーマについてレポートを作成する。
授業の概要 Contents	各自でテーマを決め、発表と討論を行います。
授業の目標 Learning Goals	A/B: 大学で学ぶ上での問題意識を持ち、それを深める。 C: 日本語による発表と討論の練習。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の概要の説明。 授業の進め方についての説明。	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
2	発表と討論 (1)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
3	発表と討論 (2)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
4	発表と討論 (3)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
5	発表と討論 (4)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
6	発表と討論 (5)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
7	発表と討論 (6)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
8	発表と討論 (7)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
9	発表と討論 (8)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
10	発表と討論 (9)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
11	発表と討論 (10)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
12	発表と討論 (11)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
13	発表と討論 (12)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
14	発表と討論 (13)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)
15	発表と討論 (14)	各自で自分の問題を発表できるようにする。(4時間)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験 (中間・期末)	
期末レポートなど	70
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	30
その他	

教科書 Textbooks : Materials	各自で準備。
参考文献等 References	各自で準備。
履修の留意点 Special Notes	積極的に授業に参加してください。
連絡先 Contact	授業外での相談は研究室（305）で受け付けます。 オフィスアワー：水曜4限 メールでの相談も可能です。 noda@tc.nagasaki-gaigo（以下略）
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	前年度担当なし
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	自由課題研究A①	科目区分 Category	NICS	科目NO Course Numbering	400
担当教員 Instructor(s)	松本 真輔	単位 Credit(s)	2	使用言語 Language	日本語
		ランク		配当年次 Assigned Year	

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
知識を理解し取り組む力	論理的思考力・問題解決力	学習に取り組む態度・意欲	コラボレーションとリーダーシップ	効果的なコミュニケーション力
○	◎	○		

履修要件 Prerequisites	N1に相当する日本語能力を有している学生を対象とする。
科目規定 Course Description	学生個々人が自ら探求したいと思うテーマについてレポートを作成する。
授業の概要 Contents	各自でテーマを決め、発表と討論を行う。
授業の目標 Learning Goals	A:論文作成の基本的なルールを学ぶ。 B:類推力を養うことで、文脈から記述内容がおおよそ読み取れる。 C:大学で学ぶ上での問題意識を持ち、それを深める。 E:日本語による発表と討論の練習。

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	授業の概要・導入	配付資料を熟読する（4時間）。
2	論文のテーマ設定：概要	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
3	論文のテーマ設定：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
4	論文のテーマ設定：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
5	論文のテーマ設定：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
6	資料収集：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
7	資料収集：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
8	資料収集：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
9	論文アウトラインの作成：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
10	論文アウトラインの作成：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
11	論文アウトラインの作成：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
12	論文の作成：口頭発表と討論（1）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
13	論文の作成：口頭発表と討論（2）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
14	論文の作成：口頭発表と討論（3）	配付資料を熟読し、発表・討論の準備を行う（4時間）。
15	論文の作成：口頭発表と討論（4）	配付資料を熟読し、今学期の授業を振り返る（4時間）。

評価方法 Grading Policy	配分(%)
試験（中間・期末）	
期末レポートなど	80
小テストなど	
宿題など	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
プレゼンテーションなど	
授業時態度など	
授業への参加度など	20
その他	

教科書 Textbooks : Materials	各自で準備。
参考文献等 References	各自で準備。
履修の留意点 Special Notes	積極的に授業に参加してください。
連絡先 Contact	場所 : 301 オフィスアワー (及び時間帯) : 水曜 4 限 メールアドレス : matsumoto@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp
前年度授業アンケート へのコメント Comment on student feedback from previous year's course	もう少し発表の時間を増やします。
科目実施後の振り返り や改善項目について Reflection and points of improvement(to be completed after end of course)	

科目名 Course title	Traditional Japanese Arts 1 – Calligraphy, Tea Ceremony, Japanese Traditional Games	科目区分 Category	JASIN・NICS	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	(Calligraphy) DEGUCHI, Suzumi (Tea Ceremony) TAKAHASHI, Fumiko (Games) TOMITA, Takatsugu	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	日本語 Japanese

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
Ability to understand and work on the content	Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
		◎	○	○

履修要件 Prerequisites	特になし None
科目規定 Course Description	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。 The aim of the course is to learn the state of Japanese culture through real experience of its traditional culture.
授業の概要 Contents	(書道) 実技が主なので、全体指導と個別指導をしたい。机間を回り、一人ひとりの実態に応じて矯正、達成度を観察。既習技能を活用し、日本の伝統文化である書きぞめに挑戦させたい。(DVD書道鑑賞(江副景舟)) (茶道) 茶道の基本、道具の名前、茶道の足の運び方、初心者のお茶の点て方、盆略点前の点前を習得する。 (日本の遊び) 伝統的な日本の遊びを実際に体験してもらう。 (Calligraphy) This class provides students with individual and group instruction in the practical skills of calligraphy. Each student will receive individual attention to help refine their skills, and students will practice the Japanese New Year's tradition of kakizome. Students will also see a DVD with detailed instruction during one class session. (Tea Ceremony) In this class, students will learn the fundamentals and tools of the tea ceremony, and practice the simple BonryakuTemae tea-making procedure. (Japanese traditional games) Discover traditional Japanese games by actually playing them.
授業の目標 Learning Goals	(書道) 日本の伝統文化である書道への誘い 毛筆による基礎的な書写能力の習得 (茶道) 日本の歴史的伝統文化茶道を学ぶ。 (日本の遊び) 日本の伝統的な遊びを体験することで、民間に伝わる文化を学ぶことができる。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。 (Calligraphy) An introduction to calligraphy in Japanese culture Practice with the fundamental calligraphy brush strokes and handwriting skills (Tea Ceremony) Study the traditional Japanese tea ceremony (Japanese traditional games) By enjoying some of the traditional Japanese games, students will be able to learn more about Japanese people's culture. C: Students will be encouraged to develop intercultural understandings through various practical training. D: By working in groups, students will be able to achieve common goals through various practical training. E: Students will be able to improve communication skills through various practical training.

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	(書道) 書道入門、道具 (用具) の説明、基本的点画の説明 (Calligraphy) Introduction Explanation of calligraphy tools and strokes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
2	(書道) 漢字の筆使いについて (Calligraphy) On kanji brush strokes	学習内容の復習、DVD鑑賞(1時間) Review class content (1 Hour)
3	(書道) かなの筆使いについて (Calligraphy) On kana brush strokes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
4	(書道) 小筆の筆使いについて (Calligraphy) On small brush strokes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
5	(書道) 半折 1 / 4 の条幅へ挑戦 (Calligraphy) Practice with different paper sizes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
6	(書道) 半折 1 / 4 の条幅へ挑戦 (Calligraphy) Practice with different paper sizes	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
7	(書道) まとめ (総括) (Calligraphy) Conclusion (summary)	これまでの学習成果を自己復習する(1時間) Course self-review (1 Hour)
8	(日本の遊び) 将棋、囲碁、花札などの昔の遊びを体験 (Japanese traditional games) Discover traditional games such as Japanese chess and others	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
9	(茶道) 初歩の茶道、DVD鑑賞 (Tea ceremony) Tea ceremony fundamentals, DVD watching	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
10	(茶道) 割稽古、裏千家歴代の話、お茶の頂き方(Tea Ceremony) Tea ceremony fundamentals, Urasenke school of tea ceremony, how to receive tea	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
11	(茶道) 割稽古、帛紗捌き、たたみ方 (Tea Ceremony) Warigeiko (Fundamentals), handling the cloth	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
12	(茶道) 盆略点前稽古、DVD鑑賞 (Tea Ceremony) BonryakuTemae, watch DVD	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
13	(茶道) 盆略点前稽古 (Tea Ceremony) BonryakuTemae	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
14	(茶道) 茶室にて足の運びにて盆略点前お客でお茶の頂き方 (Tea Ceremony) Practice	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
15	(茶道) 茶室にて足の運びにて盆略点前お客でお茶の頂き方 (Tea Ceremony) Practice	これまでの学習成果を復習する(1時間) Course self-review (1 Hour)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
Exam (Midterm・Final)	
Final Report	
Quizzes	
Assignments	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
Presentation	
Class attitude	20
Class participation	80
Other	

教科書 Textbooks : Materials	(書道) 手本等は都度配布 Materials are provided in class.
参考文献等 References	(書道) 中教出版《書の世界》、安東聖空著《梅雪かな帖》、 榎倉香邨著《かな帖》、教育出版《書写 教師用指導書》、二玄社《中国書法選》、 長崎書道会《書道の歩み》、斉藤路石著《実用書道教範》、小野鷲堂著《かな書道》、 宮澤鷲州著《楽しめる漢字かな交じり書》、藤原宏・氷田光風編《毛筆硬筆書写字典改訂新版 講談社》 主幹 有岡江彦 《書道研究玄筆会》 江副功 (景舟) 著 DVD書道 Ogura, Kokkan: The Foundation of Calligraphy, Andou, Seiku: Umenoyuki Kana, Kyouiku Shuppan: Classroom Handwriting Book and others
履修の留意点 Special Notes	(茶道) 白い靴下を持って来て履き替えること。長い髪の毛は結ぶこと。 (Tea Ceremony) Bring a pair of white socks then change in the class. Long hair must be tied. 関連科目: 日本の伝統文化1・2 & 日本の武道 Related Courses: Traditional Japanese Arts 2, 3, and Japanese Martial Arts
連絡先 Contact	メール: ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (国際交流センター事務室) International Center Office: ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	Traditional Japanese Arts 2 – Flower Arrangement, Kimono, Karuta	科目区分 Category	JASIN	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	(Flower Arrangement) SHIRAI, Kyoko (Kimono) FUJIMA, Yasuyuki (Karuta) SASAKI, Misa	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	Japanese

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
Ability to understand and work on the content	Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
		◎	○	○

履修要件 Prerequisites	特になし None
科目規定 Course Description	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。 The aim of the course is to learn the state of Japanese culture through real experience of its traditional culture.
授業の概要 Contents	(華道) 500有余年の歴史をもついけばな池坊、たゆまぬ伝承と創造につらぬかれた今日のいけばな様式、立華、生花、自由花の中から自由花を指導する。 (着付) きものをたくさん見たい、触りたい、着てみたい。そして着てみたいが叶ったら、写真で残したいという憧れをできる限り叶えて、きものの文化を伝え、理解を深めていただきたい。 (かるた) 日本独特のカードゲームである「かるた」について学ぶ。まずかるた遊びを体験し、かるたの仕組みについて理解する。さらにかるたの歴史や種類について学ぶ。主に「いろはがるた」と「小倉百人一首かるた」を用いて授業を行う。 (Flower Arrangement) Receive instruction in the traditional and creative art of <i>ikenobou</i> flower arranging, whose history extends for more than 500 years. Of the modern styles of <i>tachibana</i>, <i>ikebana</i>, and free-form arrangements, this class concentrates on the free-form method. (Kimono) In this class, students who aspire to see, feel, and wear a variety of kimono, and who would like a photo of their experience, will have their wishes fulfilled. In addition, students will deepen their understanding of the kimono by studying its traditions and role in Japanese culture. (Karuta) Learn about the Japanese card game <i>karuta</i>. Students will participate in <i>karuta</i> games while learning about the game's structure as well as its history and variations. The course will use primarily <i>Iroha Karuta</i> and <i>Ogura-Hyakunin Isshu</i> (Anthology of 100 Poems) <i>Karuta</i>.

授業の目標 Learning Goals	(華道) 自由花の基礎。四季の草木の端々しいのちに触れ、花をいける喜びと感動を表現する。 (着付) 1. 日本の民族衣裳「きもの」を知る 2. きものの「やくそく」を学ぶ・・・シーズンによってのちがい/TPOによってのちがい/男・女によってのちがい (かるた) かるたの仕組みを理解し、学生だけでも簡単なかるた遊びができるようにする。実際のかるた遊びを通し、学生たちが互いによりコミュニケーションを深める。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる。 (Flower Arrangement) Learn the foundations of free-form flower arrangement. Students will perceive the life of the vegetation of the four seasons and express happiness through flower arrangement. (Kimono) Develop an understanding of the Japanese traditional kimono and study kimono conventions ・Seasonal differences, ・Differences based on Time, Place and Occasion (TPO)・Gender differences (Karuta) Develop an understanding of the structure of <i>karuta</i> and enjoy simple <i>karuta</i> games among students while using the game to facilitate communication. C: Students will be encouraged to develop intercultural understandings through various practical training. D: By working in groups, students will be able to achieve common goals through various practical training. E: Students will be able to improve communication skills through various practical training.	
回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	(華道) 池坊の歴史、様式の紹介と実技(持ち帰り用の花器での指導) (Flower Arrangement) History of <i>ikenobou</i>, introduction to flower-arranging styles and practical skills (take-home vases)	学習内容の復習(1時間)
2	(華道) いけばなの基礎知識と実技(学校所定の花器)を使って花材のため方、水あげ法、道具の使い方 (Flower Arrangement) Basic <i>ikebana</i> knowledge and practical skills (using a vase at school), water absorbing method, using <i>ikebana</i> tools and materials	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
3	(華道) 線的な要素を生かしての実技 (Flower Arrangement) Line-type practical skills	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
4	(華道) 面的な要素を生かしての実技 (Flower Arrangement) Surface-type practical skills	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
5	(華道) 点的な要素を生かしての実技 (Flower Arrangement) Point-type practical skills	学習内容の復習(1時間) Review class content (1 Hour)
6	(華道) マッスの要素を生かしての実技 (Flower Arrangement) Overall practical skills	これまでの学習成果を復習する(1時間) Review class content (1 Hour)
7	(かるた) 「いろはがるた」を用いて、日本独特のカードゲームである「かるた」のルールを理解する。自分たちでオリジナルかるたを作る。 (Karuta) Use <i>Iroha Karuta</i> to learn the basic rules of <i>karuta</i>. Make original <i>karuta</i> cards.	オリジナルかるたを作るための筆記用具(色鉛筆・マジックなど)を用意する。(1時間) Prepare writing utensil for making original <i>Karuta</i>. (1 Hour)
8	(かるた) 前回の授業で作ったかるたでかるた遊びをする。かるたの歴史と多様なかるたについて学ぶ。 (Karuta) Play <i>karta</i> with original cards created in the previous class. Learn about <i>karuta</i>'s history and variations.	トランプや花札など、かるたに似ているカードゲームを探す。(1時間) Research <i>karuta</i> and similar card games. (1 Hour)
9	(かるた) 「競技かるた」を題材にしたアニメ、『ちはやふる』を鑑賞する。小倉百人一首を使った「散らし取り」をする。 (Karuta) Watch an animation of “Chihayafuru” whose story is based on competitive <i>karuta</i>. Play <i>Chirashidori</i>, one kind of game using Anthology of 100 Poems <i>karuta</i>.	指定されたホームページ…「World of Kyogi Karuta」を閲覧し、競技かるたのルールを理解する。(1時間) Visit the “World of Kyogi Karuta” website and study the rules of competitive <i>karuta</i>. (1 Hour)

10	(着付) きもののやくそく「下着やシーズンによってのきもの」 (Kimono) Kimono Conventions: “Kimono by season”	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
11	(着付) 男性のきもの「ゆかたやウールのきもの、ハオリやハカマ」 (Kimono) Male Kimono: “Yukata, haori, and hakama”	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
12	(着付) 女性のきもの「夏のきもの、冬のきもの」振り袖、とめそで (Kimono) Female Kimono: “Summer and Winter kimono, long-sleeved and ceremonial kimono”	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
13	(着付) フォーマルなきものを着てみましょう (Kimono) Let's wear formal kimono	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
14	(着付) 自分で着てみましょう (Kimono) Dressing yourself in a kimono	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
15	(着付) きもんで写真 (Kimono) Kimono photos	これまでの学習成果を復習する (1時間) Course self-review (1 Hour)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
Exam (Midterm・Final)	
Final Report	
Quizzes	
Assignments	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
Presentation	
Class attitude	20
Class participation	80
Other	

教科書 Textbooks : Materials	(かるた) プリントを配布する。 (Karuta) Distributed in class
参考文献等 References	(かるた) 書籍：田辺聖子『歌がるた小倉百人一首』（角川文庫）、末次由紀『ちはやふる』（講談社KCBELOVEコミックス） ウェブサイト：「World of Kyogi Karuta」 http://karuta.game.coocan.jp/ (Karuta) “World of Kyogi Karuta” http://karuta.game.coocan.jp/ , http://www.karuta.org/
履修の留意点 Special Notes	特になし 関連科目：実習・日本の伝統文化1・3、実習・日本の武道 None Related courses: Traditional Japanese Arts 1, 3, and Japanese Martial Arts
連絡先 Contact	メール/Email : ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (国際交流センター事務室 International Center Office)

科目名 Course title	Traditional Japanese Arts 3 — Koto	科目区分 Category	JASIN	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	Yoshioka, Gasui	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	Japanese

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
Ability to understand and work on the content	Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
		◎	○	○

履修要件 Prerequisites	音楽が好きなこと。自分の箏爪を持つ（一括購入）毎回遅刻せずに出席できること。受講制限あり（15名まで） Students who like music. It is essential to own a koto pick (school will purchase them in bulk). Moreover, students are advised to attend every class. Maximum 15 students will be able to take the course.
科目規定 Course Description	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。The aim of the course is to learn the state of Japanese culture through real experience of its traditional culture.
授業の概要 Contents	日本の伝統楽器について知る。 初心者対象に、箏を指の練習から始め、簡単な曲を弾けて合奏できるようになる。 ・ Learn about Japanese traditional musical instruments. ・ This course is aimed at koto beginners who will start with finger practice. Students will be able to play simple songs together.
授業の目標 Learning Goals	箏の練習を通して、日本文化への理解を深める。 和室での練習で心落ち着く時間を持ち、合奏を通して仲間と協調することの大切さ、楽しさを知る。 C 異文化理解のために、様々な曲の練習を通して、学習意欲を喚起することができる。 D 実習を通して、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E 実習を通して、コミュニケーション能力を養うことができる。 ・ Students will have an in-depth understanding of Japanese culture by Koto practice. ・ Have a relaxing time by practicing koto in a Japanese room.. In addition, students will enjoy communicating with others through playing together. C : Students will be encouraged to develop intercultural understandings through various practical training. D : By working in groups, students will be able to achieve common goals through various practical training. E : Students will be able to improve communication skills through various practical training.

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	オリエンテーション（箏の曲を聴く・箏に触れてみる） 箏の爪選び Orientation (Listen to koto music, touch the instrument) Choose koto picks	シラバスと参考図書（本学図書館所蔵）などを読んで授業にのぞむ。（1時間） Prepare for classes by reading syllabus and reference books (from library) (1 Hour)
2	箏の基礎知識・基本奏法の練習・「さくら」を弾く Basic knowledge of koto, basic practice, play "Sakura"	日本の伝統音楽を聴いて課題の準備をする。（1時間） Prepare for assignment by listening to Japanese traditional music (1 Hour)
3	基本奏法の練習・「さくら」を弾く Basic practice, play "Sakura"	基本奏法の復習、「さくら」のメロディを覚える。（1時間） Review basic practice, mastering "Sakura" melodies (1 Hour)

4	基本奏法の練習・「さくら」・日本の唄（「夕やけこやけ」他）Basic practice “Sakura”, Japanese songs (“Yuyake koyake” and others)	基本奏法の復習、楽譜を見ながら指を動かし練習する。（1時間） Review basic practice, practice by moving fingers and looking at a musical score (1 Hour)
5	基本奏法の練習・「さくら」合奏 Basic practice, play “Sakura” together, Japanese songs	基本奏法の復習、楽譜を見ながら指を動かし練習する。（1時間） Review basic practice, practice by moving fingers and looking at a musical score (1 Hour)
6	基本奏法の練習・「三段の調」を弾く Basic practice, play “Sandan no Shirabe”	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
7	箏以外の日本の伝統楽器紹介・「三段の調」 Introduce other Japanese musical instruments, basic practice, play “Sandan no Shirabe”	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
8	「三段の調」日本の唄 “Sandan no Shirabe” and Japanese songs	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
9	「三段の調」日本の唄 “Sandan no Shirabe” and Japanese songs	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
10	「さくら」日本の唄 “Sakura” and Japanese songs	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
11	「さくら」日本の唄合奏 “Sakura” and play Japanese songs together	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
12	箏を中心としたDVD鑑賞・クリスマスソング Watch Japanese music DVD mainly with koto, Christmas songs	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
13	アニメ曲他 Anime music and others	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
14	アニメ曲他 Anime music and others	学習内容の復習。（1時間） Review class content (1 Hour)
15	クラシック・ポップス・世界の歌・授業のまとめ Classical/pop/world music, course summary	これまで学習したことの総復習（1時間） Overall course review (1 Hour)

評価方法 Grading Policy	配分(%)
Exam (Midterm・Final)	
Final Report	
Quizzes	
Assignments	

評価方法 Grading Policy	配分(%)
Presentation	
Class attitude	50
Class participation	30
Other	20

教科書 Textbooks : Materials	資料貸与 Students will be able to borrow textbooks.
参考文献等 References	『生田流の箏曲』講談社・『実践「和楽器」入門』ヤマハ・『邦楽百科事典』音楽の友社 『箏のためのハンドブック』家庭音楽会（いずれも本学図書館所蔵） Kodansha: Koto music in Ikuta style, Yamaha: Introduction to Japanese Musical Instruments, Ongaku No Tomo Sha: Japanese Music Encyclopedia, Katei Ongaku kai: Handbook for Koto (All available from university library)
履修の留意点 Special Notes	箏の爪代金（約4,000円）を用意すること。初回時に箏爪を購入するので、受講者は必ず初回授業に出席すること。受講希望者多数の場合は受講制限あり（15名まで）。和室（正座）での練習。 4,000 yen will be necessary for purchasing koto picks. Students will practice in a Japanese tatami room (seiza style -keeling on the knees). As there is a cap for student numbers, it is essential to attend the first class. Students who fail to do so will no longer be able to take the course. This course takes place in a Japanese classroom (with seiza - kneeling position)
連絡先 Contact	オフィスアワー：授業前後は2 1 5 和室 メールアドレス：yoshioka@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp Office Hour: Before and after classes in Japanese classroom 215 yoshioka@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

科目名 Course title	Japanese Martial Arts and Sports Practice	科目区分 Category	JASIN	科目NO Course Numbering	100
担当教員 Instructor(s)	(Aikido) KABURAGI, Kojiro (Kendo) TOMINAGA, Kazumi (Sumo) TIEDEMANN, Mark	単位 Credit(s)	1	使用言語 Language	Japanese

授業の到達目標 Criterion-Referenced Evaluation				
A	B	C	D	E
Ability to understand and work on the content	Logical comprehension, Issue solving ability	Attitude and motivation towards the class	Collaboration and leadership	Effective communication skill
		◎	○	○

履修要件 Prerequisites	特になし None
科目定Course Description 授業の概要 Contents	日本の伝統的な文化を実際に体験し、日本における文化のあり方について学ぶことを目的とする。 The aim of the course is to learn the state of Japanese culture through real experience of its (合気道) 合気道は単なる護身術ではありません。日本武道の一つの形、相手との一体化や相手と争わない精神がその技の根本に置かれています。「合気とは愛なり」という言葉どおり、相手と敵対するのではなく、心も体も相手にまかせることから技が生まれます。その練習の過程で、人との和というものを体感することができる武道です。 (剣道) 伝統的な日本の剣道の研究。日本の武道を知り、その基本理論と概念を理解します。 All civilizations in all eras share a history of struggle. In this class, students will study traditional Japanese kendo, aikido, and sumo with the goal of understanding the basic theory and concepts of Japanese martial arts and regarding their importance in Japanese culture.
授業の目標 Learning Goals	(合気道) 合気道の技と心に触れます。護身術にも使える技を通して、力の抜き方、相手との合わせ方を学びます。 (剣道) 日本の武道を実際に体験することにより、日本文化についての理解を深める。 C: 異文化理解のために、様々な実習を通じて、学習意欲を喚起することができる。 D: 様々な実習を通じて、周囲と協力しながらひとつの目標を達成することができる。 E: 様々な実習を通じて、コミュニケーション能力を養うことができる Become acquainted with Japanese fencing and understand the basic terms and concepts involved. Acquire knowledge about Japanese martial arts and understand how martial arts contribute to Japanese culture. Develop a cross-cultural and comparative understanding of martial arts and sports. C: Students will be encouraged to develop intercultural understandings through various practical training. D: By working in groups, students will be able to achieve common goals through various practical training. E: Students will be able to improve communication skills through various practical training.

回数 Lecture	授業計画 Course Schedule	授業外の学習の指示他 Assignments
1	(相撲講義) 実技ではなく相撲についての解説を行う (Sumo) Learn about the art of Sumo	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
2	(合気道) 力の抜き方を中心に合気道の基本の姿勢と動きを学ぶ (Aikido) Learn how to relax your body, basic body postures and movement	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
3	(合気道) 体さばきを中心に合気道の基本の動きを学ぶ (Aikido) Learn body shifting and continuation of previous week	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
4	(合気道) 1教・2教・3教などを中心に相手の動きを押さえ込む基本技を学ぶ (Aikido) Learn the fundamentals of <i>ikkkyo, nikkyo and sankyo</i>	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)

5	(合気道) 合気道の代表的な投げ技を学ぶ (投げる前まで) (Aikido) Learn major <i>nage</i> techniques (Before throwing)	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
6	(合気道) これまでの復習と他の様々な技を学ぶ (Aikido) Review of previous weeks / Learn several other Aikido techniques	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
7	(合気道) これまでの復習と後ろ取りの技を学ぶ (Aikido) Review of previous weeks / Learn techniques of <i>ushirotori</i>	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
8	(合気道) これまでのまとめと二人取りの技を学ぶ (Aikido) Overall review and application in pairs	これまでの学習成果を復習する(1時間) Review class content (1 Hour)
9	(剣道) 序論 剣道、礼法、刀 (Kendo) Introduction for Kendo, Reiho(spirit of propriety), About swords	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
10	(剣道) 基本の足さばき、構えについて (Kendo) Basic footwork, Kamae	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
11	(剣道) (技-稽古) 相手と共に練習 (Kendo) <i>Waza-geiko</i> (技-稽古 <i>わざ-げいこ</i>): technique practice to learn and refine techniques of Kendo with a receiving partner.	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
12	(剣道) (切り返し きりかえし) 相手と共に練習 (Kendo) <i>Kiri-kaeshi</i> (切-返し <i>きり-かえし</i>): Striking the left and right <i>men</i> target points in succession, practicing centering, distance, and correct technique with a partner, while building spirit and stamina.	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
13	(剣道) DVD (Kendo) DVD overview	剣道の紹介 生涯修行、段位について (1時間) Presentation of Kendo, about life-long practice and <i>Dani</i> (grade of black belt) (1 Hour)
14	(剣道) 日本剣道形 (Kendo) <i>Nihon-Kendo-Kata</i>	学習内容の復習 (1時間) Review class content (1 Hour)
15	(剣道) 復習 (Kendo) Review	これまでの学習成果を復習する (1時間) Review all of the class content (1 Hour)

評価方法 Grading Policy	配分 (%)
Exam (Midterm・Final)	
Final Report	
Quizzes	
Assignments	

評価方法 Grading Policy	配分 (%)
Presentation	
Class attitude	20
Class participation	80
Other	

教科書 Textbooks : Materials	特になし None
参考文献等 References	(剣道) 全日本剣道連盟 (Ed.): Japanese-English Dictionary of Kendo. Tokyo 2000 Miyamoto, Musashi: The book of five rings. Shambhala 200 Takuan Soho: The Unfettered Mind. Kodansha 2003 Yamamoto, Tsunetomo: Hagakure. Kodansha 2002 Suzuki, Daisetsu: Zen and Japanese Culture. Tuttle 1988 Herrigel, Eugen: Zen in the Art of Archery. Vintage 1999 http://www.kendo.or.jp/ http://www.osi.uio.no/kendo/pdf/Noma.pdf http://www.kendo-fik.org/ http://www.kendo-fik.org/english-page/english-page2/brief-history-of-kendo.htm http://www.youtube.com/watch?v=XWzdIpayeFk http://www.youtube.com/watch?v=MXMfPPWkMVY&feature=related
履修の留意点 Special Notes	(合気道) 運動ができる服装。スカート不可 (受身ができる服)。手首を取る技が多いので腕時計などは授業前にはずすこと。 (剣道) 服装 (注意!) 剣道の服装 (稽古着、袴) を買う必要はありません。適当なスポーツウェアで、金属ジッパーのない厚い綿 または同類のものがよいです。すべての貴金属類を事故防止の為に外してください。手足の爪をきれいに切ること。 イヤリングとピアスは外すこと。もしそれができないならばテープでおおうことです。また腕時計、チェーン、ネックレス、その他の アクセサリも外してください。すべて事故防止の為です。相手と共に練習しますので衛生管理にも気をつけてください。 日本人の学生は初心者であることが望ましいです。(防具着用の稽古はありません。) 関連科目: 関連科目: 実習・日本の伝統文化 1 ~ 3 Attire: It's not necessary to buy a Kendo uniform. Loose fitting sportswear, preferably thick cotton, without any metal zippers will do. All martial arts are practiced with bare feet, so please make sure that your toenails (and fingernails) are trimmed. Also earrings, piercings and any kind of metal accessories have to be removed - if that is not possible, they have to be covered with tape or band aide. Watches, chains, necklaces and other accessories are not allowed to avoid injuries. For Japanese experienced students, please note that this is a basic kendo course without wearing bogu. For Aikido, please wear clothes in which you can move. Skirts are not permitted. Because
連絡先 Contact	メール/Email : ic@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (国際交流センター事務室 International Center Office)